Panasonic

ポータブルDVDオーディオ／ビデオプレーヤー

取扱説明書

品番 **DVD-PA65**

このたびは、ポータブルDVDオーディオ／ビデオプレーヤーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

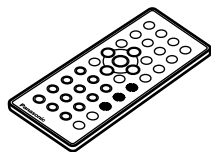
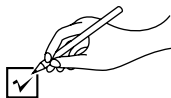
■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。

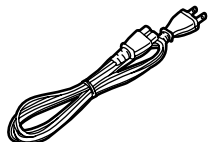
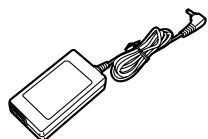
■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、
販売店からお受け取りください。

保証書別添付

上手に使って上手に節電

RQT5593-S

付属品のご確認

□ **リモコン**
(品番：VEQ2376)

□ **リモコン用ボタン電池**
(買い替え時の品番については 7 ページをご参照ください。)

□ **電源コード**
(品番：VJA0536)

□ **AC アダプター**
(品番：VSK0577)

□ **音声／映像コード**
(品番：RJL3X001X15)

付属品の買い替えは、お買い上げの販売店へご相談ください。かっこ内の数字は買い替え時の品番を表します。

お願い

付属の電源コード／ AC アダプターは、本機専用です。他の機器に使用しないでください。

本書では、次の記号を使用しています。

DVD-A …DVD オーディオで楽しめる機能
DVD-V …DVD ビデオで楽しめる機能
VCD …ビデオ CD で楽しめる機能
CD …音楽 CD で楽しめる機能

もくじ

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告	**この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。**
注意	**この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。**

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

分解、改造はしない

分解禁止

- 機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。
- 点検や修理は、販売店にご相談ください。

付属のACアダプター以外は使わない

- 自動車のシガレットライターソケットに接続したり、他のACアダプターを使うと、火災の原因になります。

雷が鳴ったら、機器や電源プラグに触れない

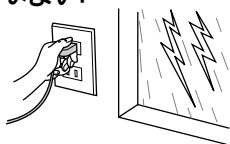
接触禁止

- 感電の恐れがあります。

異常があったときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- **機器内部に金属や水、異物が入ったとき**
- **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

歩行中や、乗り物を運転中に使用しない

- 交通事故の原因になります。

レーザー光を見つめない

- 視力障害の原因になります。

警告

水をかけたり、濡らしたりしない

●本機の内部に入ると、火災や感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

●差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
●傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

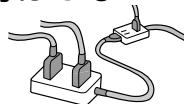
ACアダプター・電源コード・プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。

●傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
●コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

●プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
●長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない

●たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

●感電の原因になります。

ボタン電池は正しく取り扱う

●⊕と⊖は正しく入れる
●長期間使用しないときは、取り出しておく

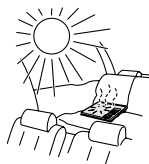
ボタン電池は誤った使い方をしない

●乳幼児の手の届く所に置かない
●加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない
●ネックレスなどの金属物といっしょにしない

●誤って飲み込むと、胃や腸が損傷します。また、液が目に入ると、失明の恐れがあります。万一、このようなことが起こったら、すぐに医師にご相談ください。
●取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
●万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
●液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

安全上のご注意

⚠ 注意

異常に温度が高くなるところに置かない

- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

ひざの上などで長時間使用しない

- 機器の底面が熱くなり、低温やけどの原因になります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量では、聴力に悪い影響を与える原因になります。

ひび割れ、変形、修復したディスクやハート型等の特殊形状のディスクは使用しない

- 本機の内部で割れて飛び散ると、けがの原因になります。

ディスクについて

○ 再生できるディスク

- DVD オーディオ

- DVD ビデオ

- ビデオ CD

- 音楽 CD

× 再生できないディスク

- リージョン番号**「2」「ALL」以外**の DVD ビデオ
- PAL 方式の DVD ビデオ※／ビデオ CD

● **CD-R**	● **フォト CD**	● CVD
● DVD-ROM	● CD-ROM	● CD-G
● DVD-RAM	● DVD-R	● CDV
● DVD+RW	● DVD-RW	● CD-RW
● VSD	● SACD	● SVCD

など

※DVD オーディオの音声は再生されます。（表示窓に“ AOP ”が点灯し、「オーディオ オンリー プレーヤー」モードであることをお知らせします。☞53 ページ）

CD-R、フォト CD を再生するとディスクの内容が壊れる恐れがあります。

ディスク側の制約について

DVDオーディオ／DVDビデオ／ビデオCDには、ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりに動作しないものがあります。ディスクのジャケットなどもご参照ください。

DVDビデオには発売地域ごとにディスクとプレーヤーに割り当てられた**リージョン番号**があります。本機の番号は**「2」**です。
本機は**「2」**（または「2」を含むもの）と**「ALL」**が表示されたディスクの再生が可能です。
ディスクのジャケットもご参照ください。

例）
など

■ジャケット上のマークについて

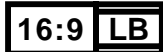
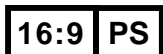
下記は一例です。

<音声数> <字幕数> <アングル数>

（数字は記録されている音声／字幕／アングルの数を示す。）

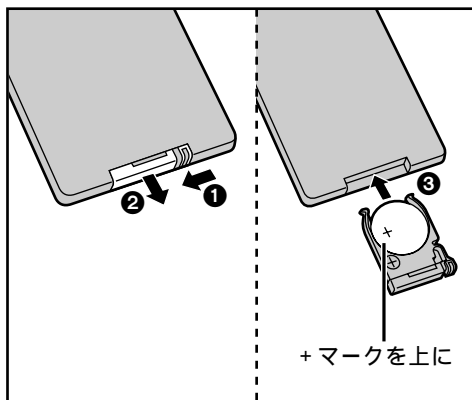
<画面サイズ（横：縦の比）>

- 4：3の標準サイズ　4:3
- レターボックス※1

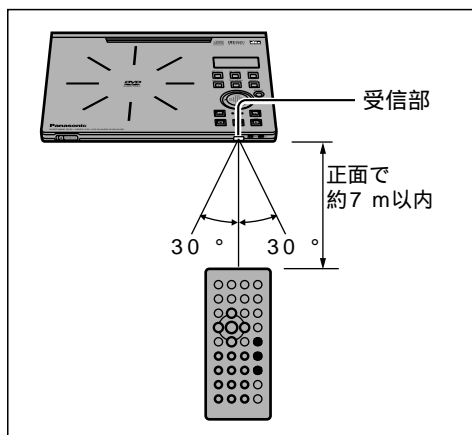
- 16：9のワイドサイズ：16:9 LB　標準サイズのテレビでは、レターボックス※1で再生される。
- 16：9のワイドサイズ：16:9 PS　標準サイズのテレビでは、パン＆スキャン※2で再生される。

※1 4：3で上下に黒帯が入った画面
※2 両側または片側の切れた画面

- テレビに映し出される映像は、テレビの画面サイズ（横：縦）や画面モードによっても異なります。（☞43ページ）

リモコンの準備

ボタン電池（付属）を入れる

■電池の交換時期（1年が目安です。）

- 下記の使用範囲内でリモコンを操作しても動かないときは、電池を交換してください。
  品番（市販品）**：CR2025**（リチウム電池）
- 廃棄する場合は、不燃ゴミとして処理してください。（または、地方自治体の条例に従ってください。）

使用範囲

お願い

- 受信部に強い光を当てない。
- リモコンと受信部の間に物を置かない。
- 他の機器のリモコンと同時に使わない。

電源の準備

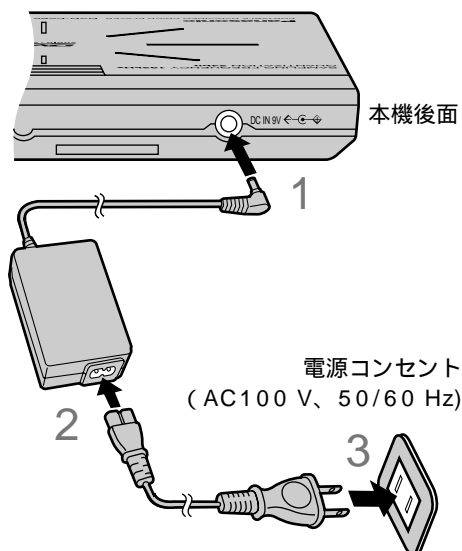
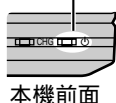
AC アダプター（付属）で使う

以下の手順で取りつけてください。

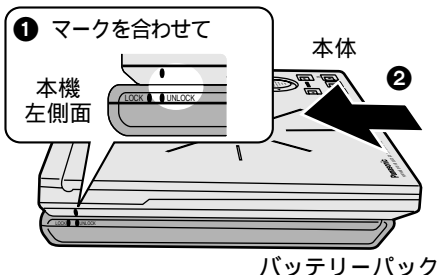
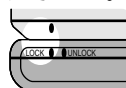
海外旅行のお供にも

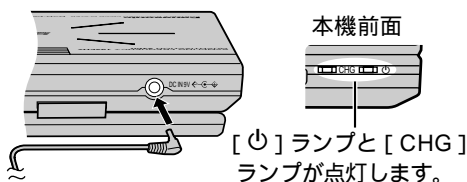
付属の AC アダプターは AC100 ～ 240 V の電源に使用できます。
- 旅行先のコンセントに合わせた変換プラグをご用意ください。

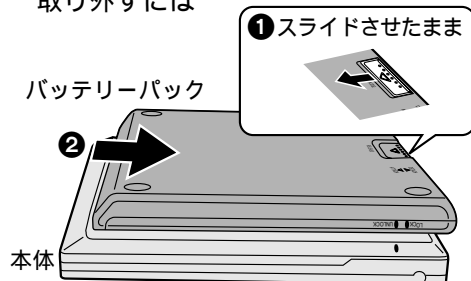
■長期間使用しないときは

電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

バッテリーパック（別売）で使う

- バッテリーパックの説明書もよくお読みください。
- 初めてご使用になる場合は、充電してからお使いください。

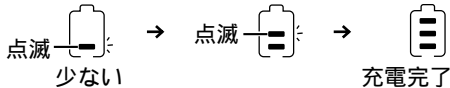
■取り付けるには

カチッと音がしたら取りつけ完了です。
確実に取りつけられていることを確認してください。

■充電するには

バッテリーパックを取り付けた状態で、AC アダプターを接続してください。（☞ 左記）
- 充電できるのは電源が切れているときだけです。（「電源を切るには」 ☞9 ページ）

［CHG］ランプが消えると充電終了
AC アダプターと電源コードを取り外してください。

■取り外すには

品番：DY-DB75（リチウムイオン電池）

■充電時間と再生可能時間

充電時間	再生時間
約4時間30分（温度20℃）	約7時間

- 上記の時間は使用条件により異なります。
- 充電中は表示窓（☞53ページ）に充電量が表示されます。充電時間のおおよその目安としてください。

■バッテリーの残量を確認するには

表示窓を見てください。

■充電しても再生時間が極端に短いときは

バッテリーパックの寿命です。
（充電回数約300回が目安です。）

■長期間使用しないときは

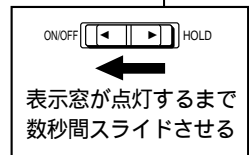
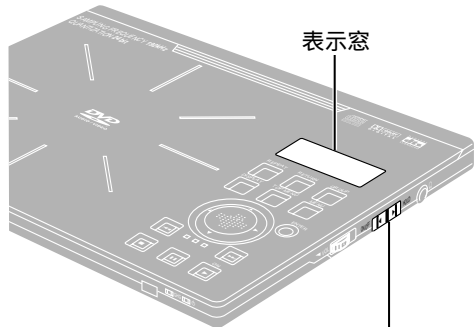
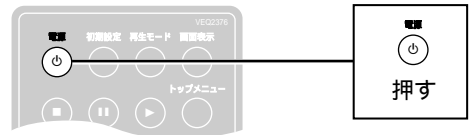
- バッテリーパックを取り外してください。（そのままにしておくと、電源「切」状態でも微少電流が流れていますので、過放電になり故障するおそれがあります。）
- 再使用時は充電してからお使いください。

充電式リチウムイオン電池について

使用済みの電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで下記マークのあるリサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion

電源を入れる

<本体>

<リモコン>

■電源を切るには

上記の操作を再び行ってください。
ACアダプター使用時は[⏻]**ランプ**が点灯します。（電源が入っていなくても、約1.3 Wの電力を消費していることを表します。）

お知らせ

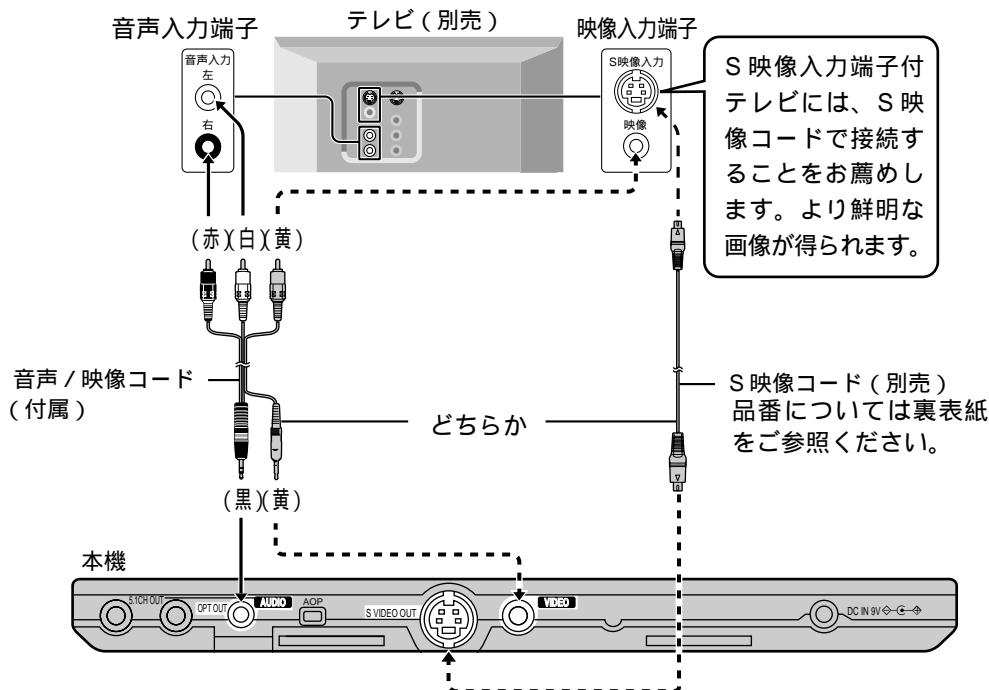
- バッテリーパック単独使用時は、リモコンで電源を入れることができません。
- 停止状態で約15分（バッテリーパック単独使用時は約5分）経過すると節電のため自動的に電源が切れます。**（オートパワーオフ）**

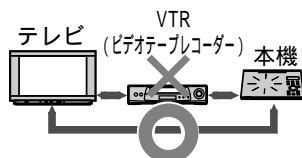
テレビの接続・設定

テレビと接続する

ここでは、テレビのスピーカーを使って音声を聞く場合の接続と設定を説明しています。
より迫力ある音声でお楽しみいただくには、32 ページからの接続・設定を行ってください。

準備

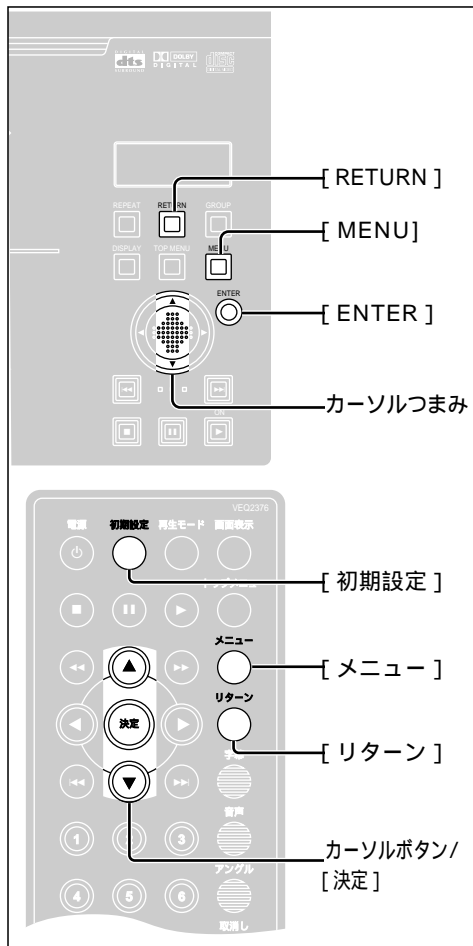
- 本機およびテレビの電源を「切」にしてください。
- テレビの説明書もよくお読みください。

お願い

- 本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。
  VTR（ビデオテープレコーダー）や VTR 内蔵テレビのビデオ側端子を経由して接続すると、コピーガードの影響により、再生時の画面が乱れることがあります。

- DVD オーディオ／ DVD ビデオ再生時は、テレビ放送に比べて音量が小さく感じられます。ディスクを再生したときにテレビの音量を上げ、その後テレビ放送に切り換える場合は、必ず元の音量に戻してください。突然大きな音が出ることがあります。

テレビに合わせて設定する

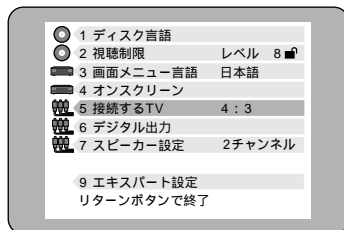
出荷時の設定は４：３（標準サイズのテレビ）になっています。

準備

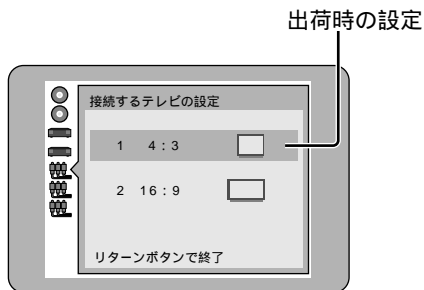
- 本機およびテレビの電源を入れてください。
- テレビの外部入力を切り換えてください。

お願い

スピーカーの設定が“マルチチャンネル”になっているときは“2チャンネル”に設定してください。（☞38ページ）
出荷時は“2チャンネル”に設定されています。

1 停止中
[初期設定]または［**MENU**］（**メニュー**）を押して
初期設定画面を表示する

2 **カーソル［▲、▼］**を操作して
“5 接続するTV”を選び［ENTER］（決定）を押す

3 **カーソル［▲、▼］**を操作して
テレビの画面サイズ（横：縦）を選び［ENTER］（決定）を押す

出荷時の設定

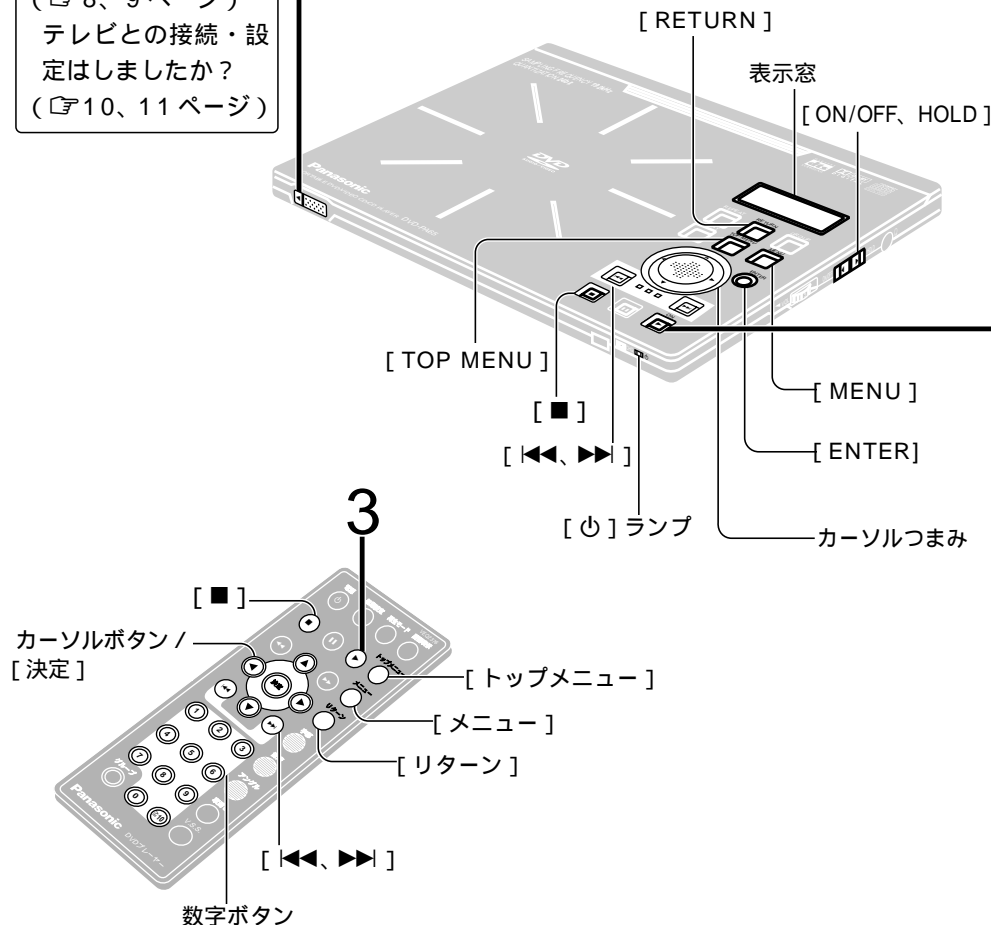
接続するテレビの設定
1　4：3
2　16：9
リターンボタンで終了

- **４：３**：標準サイズのテレビ
- **16：９**：ワイドサイズのテレビ

4 **[RETURN]（リターン）**を押して
設定を終了する

■ひとつ前の画面に戻るには

[RETURN]（リターン）を押す

ディスクを再生する

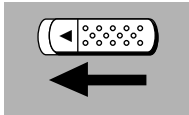
●電源の準備はしましたか？
(☞8、9 ページ)
●テレビとの接続・設定はしましたか？
(☞10、11 ページ)

■誤作動を防ぐには

ON/OFF [◀ | ▶] HOLD

[ON/OFF、HOLD] を HOLD 方向へスライドさせる

ホールド状態になり、誤ってボタンを押しても操作を受け付けなくなります。この状態でボタンを押すと表示窓に " Ho ld " と表示され [⏻] **ランプ**が点滅します。

解除するには：[ON/OFF、HOLD] を ON/OFF 方向へスライドさせる

1

ロックを解除してふたを開ける

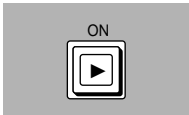
2

ディスクを入れる

入れ終わったら、手でふたを閉める

●再生したい側のラベルを上にしてください。

3

ON

再生を始める

メニュー画面を表示したときは（☞ 下記）

●電源が入っていないときは[▶、ON]を押し続けると電源が入り、再生が始まります。

表示窓

<メニュー画面を表示したときは>

例）

1. 演歌
2. ジャズ
3. ロック
4. ポップス
5. カラオケ練習

リモコンの**数字ボタン**を押して項目を選ぶ

●DVD オーディオ／ DVD ビデオの場合は**カーソル［▲、▼、◀、▶］**を操作して項目を選び［**ENTER**］（**決定**）を押しても操作できます。

■数字ボタンで 10 以上を選ぶには

例）10 ： ［≧10］ → ［1］ → ［0］

例）25 ： ［≧10］ → ［2］ → ［5］

■その他のメニュー操作

ディスクにより異なりますのでディスクのジャケットもご参照ください。

［▶▶|］ ：次のメニューを出す

［|◀◀］ ：一つ前のメニューに戻る

［TOP MENU］（**トップメニュー**）
：最初のメニューに戻る

［MENU］（**メニュー**）：メニュー画面を出す

［RETURN］（**リターン**）：メニュー画面を出す

●DVD オーディオの場合、メニューなどの画面を使わず音声のみを再生することもできます。（☞17 ページ）

■“⃠”を表示したときは

ディスクまたは本機で禁止されているため、その操作はできません。

■再生が終了したら

続けて再生しないときは、節電のため、電源を切っておいてください。（☞9 ページ）

お知らせ

●長時間お使いになると本機表面が多少熱くなりますが、故障ではありません。

●メニュー画面表示中は、ディスクが回っています。再生しないときは［■］を押してください。

表示窓
カーソルつまみ
[|◀◀、▶▶|]
[▶]
[❚❚]
[■]

[■]
[❚❚]
[▶]
[◀◀、▶▶]
カーソルボタン
[|◀◀、▶▶|]

再生を止める

DVD-A　DVD-V　VCD　CD

再生中
[■] を押す

表示窓に “ ▶ ” が点滅しているときは、止めた位置が記憶されています。

“ ▶ ” 点滅中 [▶]（**再生**）を押すと、止めた位置から再生が始まります。
（続き再生メモリー機能）
DVD ビデオの場合は、さらに次の画面を表示します。

表示中に [▶]（**再生**）を押すと、あらすじリプレイになります。押さずに放置しておくと画面が消え、止めた位置から再生が始まります。

あらすじリプレイ：
再生を止めた位置までの各チャプターの冒頭を再生した後、止めた位置から再生が始まります。(同一タイトル内でのみ働きます)

■続き再生メモリー機能を解除するには

[■] を押す
- DVD オーディオのグループは記憶されています。

お知らせ

続き再生メモリー機能は
- 電源を切っても保持されます。
- ふたを開けると解除されます。
- 再生中、表示窓に経過時間が表示されないときは働きません。

静止（一時停止）する

DVD-A | DVD-V | VCD | CD

再生中

［❚❚］を押す

表示窓

点灯 ❚❚

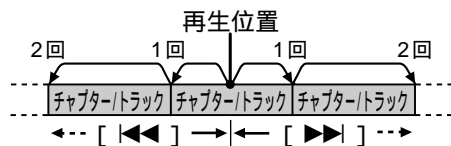
● **［▶］（再生）**を押すと通常再生に戻ります。

場面(チャプター)・曲(トラック)を飛びこす

DVD-A | DVD-V | VCD | CD

再生中／静止（一時停止）中

［|◀◀］（戻る）、**［▶▶|］**（進む）**を押す**

押した回数だけスキップします。

早送り・早戻しする

DVD-A | DVD-V | VCD | CD

再生中

<本体>

［|◀◀］（戻る）、**［▶▶|］**（進む）

を押し続ける

<リモコン>

［◀◀］（戻る）、**［▶▶］**（進む）**を押す**

- 押し続けると（リモコンでは押すたびに）、速くなります。（5 段階）
- **［▶］（再生）**を押すと通常再生に戻ります。
- 早送り／早戻し中も音声が聞こえます。（聞こえないディスクもあります。）
  音声を消すこともできます。（DVD ビデオ／ビデオ CD のみ ☞29 ページ "9 エキスパート設定"）

スロー再生する

DVD-A | DVD-V | VCD

静止（一時停止）中

<本体>

［|◀◀］（戻る※）、**［▶▶|］**（進む）

を押し続ける

<リモコン>

［◀◀］（戻る※）、**［▶▶］**（進む）**を押す**

※ DVD オーディオ／ DVD ビデオのみ

- 押し続けると（リモコンでは押すたびに）、速くなります。（5 段階）
- **［▶］（再生）**を押すと通常再生に戻ります。
- DVD オーディオは、動画部でのみ可能です。

コマ送り・コマ戻しする

DVD-A | DVD-V | VCD

静止（一時停止）中

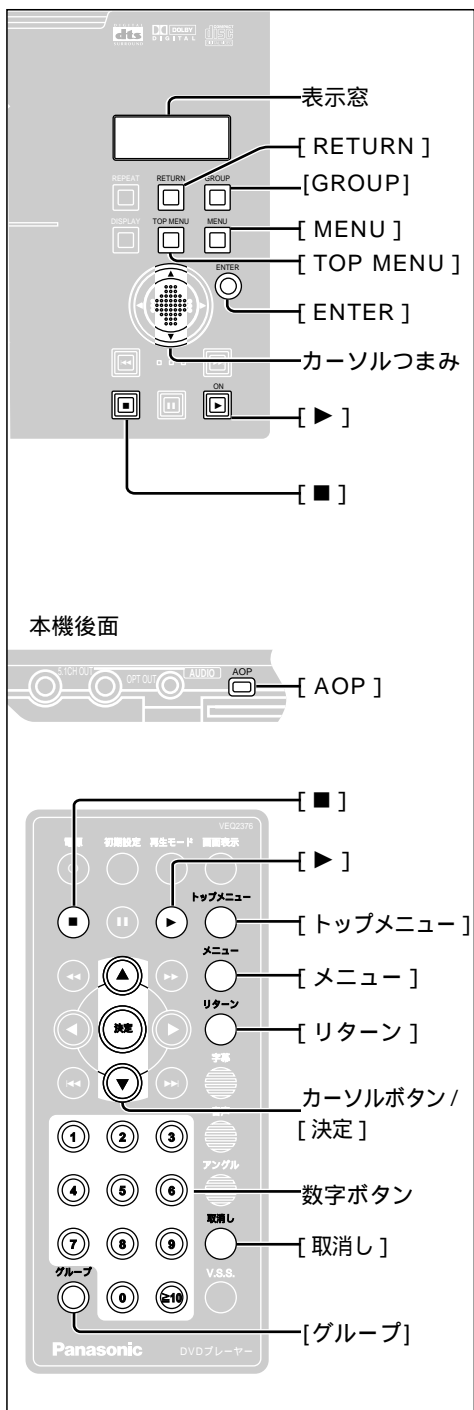
カーソル［◀］（戻る※）、**［▶］**（進む）

を操作する

※ DVD オーディオ／ DVD ビデオのみ

- 操作したままにすると、連続してコマ送り／コマ戻し再生になります。
- **［▶］（再生）**を押すと通常再生に戻ります。
- **［❚❚］**を押してもコマ送りできます。
- DVD オーディオは、動画部でのみ可能です。

お知らせ

プレイバックコントロール付ビデオ CD のメニュー再生中は［|◀◀、▶▶|］や［◀◀、▶▶］が正しく働かないことがあります。（「プレイバックコントロール」☞44 ページ）

グループを選んで再生する

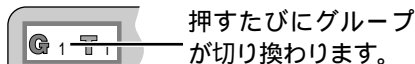
DVD-A

グループとは

DVD オーディオのディスクに入っているトラックの組み合わせのことです。
ディスクによっては暗証番号を入力すると再生できるボーナスグループが入ったものもあります。

1 再生中／停止中

[GROUP]（グループ）を押す

押すたびにグループが切り換わります。

- リモコンの**数字ボタン**で選ぶこともできます。

2 **[▶]（再生）を押す**

選んだグループのトラック 1 から再生が始まります。

- ボーナスグループは停止中のみ選べます。この場合はさらに下記の操作を行ってください。

<ボーナスグループを再生するには>

1 リモコンの**数字ボタン**で暗証番号（4 ケタ）を入力する（間違えたときはリモコンの**[取消し]**を押してください。）
- 番号はディスクのジャケットなどで確認してください。

2 **[ENTER]（決定）**を押す
表示がトラック選択のものに変わります。
- この時点で**カーソル [▲、▼]**を操作するとトラックが選べます。

3 **[▶]（再生）**または**[ENTER]（決定）**を押す

- 間違った番号を入力すると、元の画面に戻ります。最初からやり直してください。
- いったん暗証番号を入力すると、ディスクを取り出すまで再び入力する必要はありません。

一度に全グループを再生したいときは、オールグループ再生でお楽しみください。(☞18 ページ)

場面（タイトル）・曲（トラック）を番号指定で再生する リモコンのみ

DVD-A　DVD-V　VCD※　CD

再生中／停止中

数字ボタンを押す

選んだタイトル／トラックから再生が始まります。（プレイバックコントロール付ビデオ CD の場合 ☞ 下記）

- カラオケソフト以外の DVD ビデオでは停止中のみ働きます。
- DVD オーディオの場合、別のグループのトラックを選ぶときは、まずグループ番号を入力してください。（☞16 ページ）
- ディスクや再生状態によって働かないことがあります。

＜※プレイバックコントロール付ビデオ CD の場合＞

メニュー再生を解除してから操作してください。

1 再生中[■]を押して表示窓の“ PbC ”を消す
2 **数字ボタン**を押す（☞ 上記）

メニュー再生に戻すには

1 [■] を数回押して表示窓の“ ▶ ”を消す
2 [▶]（再生）または[MENU]（メニュー）を押す
表示窓に“ PbC ”が点灯します。

音声のみを再生する

DVD-A

停止中 **[A O P] を押し、[▶]（再生）を押す**

テレビに接続していないときでも、メニュー画面を使わずに再生できます。

表示窓　点灯

- 動画部は再生できないことがあります。

メニュー画面に戻す

DVD-A　DVD-V　VCD

＜ DVD オーディオの場合＞

再生中

[TOP MENU]（トップメニュー）を押す

＜ DVD ビデオの場合＞

再生中

[MENU]（メニュー）を押す

（複数のメニューを持つ DVD ビデオの場合 ☞ 下記）

＜ビデオ CD の場合＞

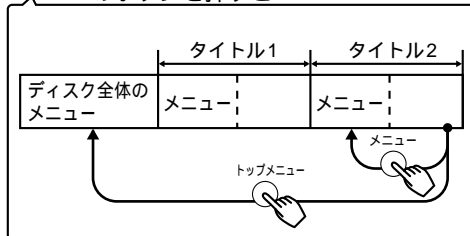
再生中

[RETURN]（リターン）を押す

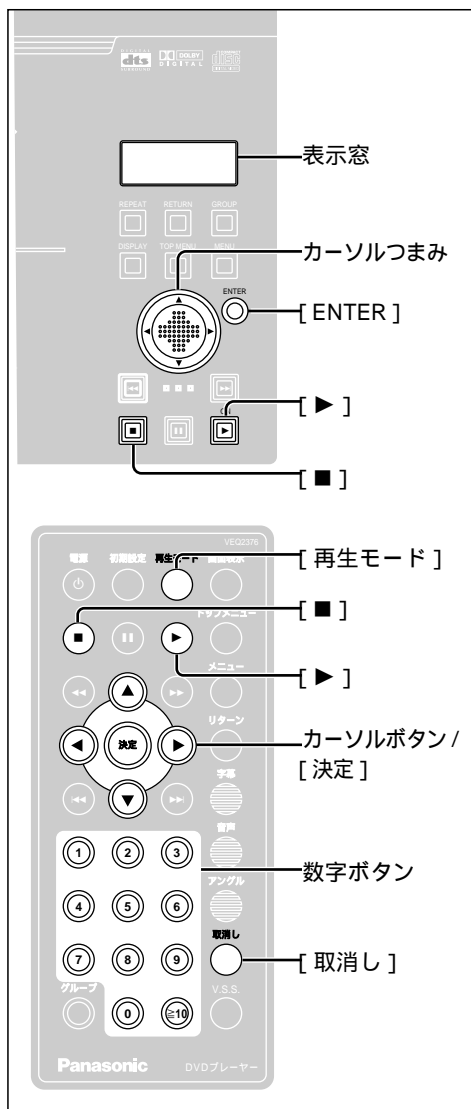
＜複数のメニューを持つ DVD ビデオの場合＞

[TOP MENU]（トップメニュー）を押してもメニュー画面に戻すことができます。

- ただし **[MENU]（メニュー）**を押したときと **[TOP MENU]（トップメニュー）**を押したときで表示されるメニューが異なる場合があります。

例えばタイトル 2 再生中にそれぞれのボタンを押すと

お知らせ

- メニューの内容は、ディスクによって異なりますが、ここでは一般的な操作方法を紹介しています。
- 音声のみで DVD オーディオを再生しているとき（表示窓に“ AOP ”点灯時）には働きません。

再生の種類を切り換える

お知らせ

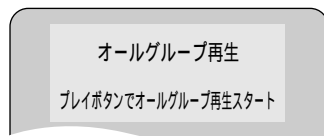
- プログラム再生の予約は解除しない限り、電源を切るか、ふたを開けるまで保持されます。
- プログラム／ランダム再生時にDVDオーディオの「ボーナスグループ」を選んだときは、暗証番号（4ケタ）を入力してください。（☞16ページ）

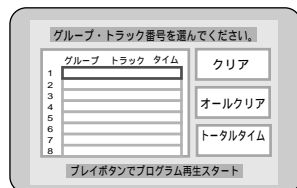
停止中リモコンの［**再生モード**］を押して
再生の種類を切り換える
ボタンを押すたびに切り換わります。

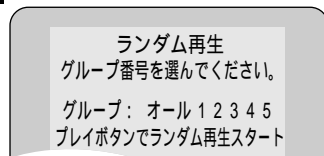
“⃠”が表示されたときは［■］を押して表示窓の“▶”を消してから[**再生モード**]を押してください。

例） DVDオーディオの場合

A 全てのグループを順に再生する（オールグループ再生）

↓

B 好みの順に再生する（プログラム再生）（最大32トラック）

↓

C 順不同に再生する（ランダム再生）

↓

通常再生モードに戻る

それぞれの画面を表示して19ページの操作を行うと、選んだモードで再生が始まります。

■通常再生に戻すには

1. ［■］を数回押して表示窓の“▶”を消す
2. リモコンの［**再生モード**］を押して通常再生に切り換える
3. ［▶］（**再生**）を押す

■再生が終了したら

停止し、それぞれの画面に戻ります。

A 全てのグループを順に再生する（オールグループ再生）

DVD-A

[▶]（再生）を押す

B 好みの順に再生する（プログラム再生）

DVD-A VCD CD

1 [ENTER]（決定）を押す

2 ＜DVD オーディオのみ＞

カーソル［▲、▼］を操作して
グループを選び
[ENTER]（決定）を押す

3 カーソル［▲、▼］を操作して
トラックを選び
[ENTER]（決定）を押す

カーソル［▲、▼］を操作するたびに

1 ⟷ 2 ⟷ オール（オールから1へ戻る）

必要なだけ手順 1 ～ 3 を繰り返してください。

- 手順 1 ～ 3 のかわりにリモコンの**数字ボタン**でグループ／トラックを選ぶこともできます。
- “ トータルタイム ” には、予約合計時間が表示されます。
- “ オール ” を選ぶと全曲（DVD オーディオの場合はグループ内の全曲）が予約されます。

4 [▶]（再生）を押す

■予約内容を変更するには

[■] を数回押す
プログラム再生画面が表示されます。
それぞれ以下の操作を行ってください。

予約を部分変更するには

1 **カーソル［▲、▼］**を操作して変更するグループ／トラックを選ぶ
2 左記の手順 1 ～ 3 を行う

予約を 1 つずつ取り消すには

1 **カーソル［▲、▼］**を操作して取り消すトラックを選ぶ
2 リモコンの **[取消し]** を押す
- **[取消し]** を押すかわりにカーソルで “ クリア ” を選び **[ENTER]（決定）**を押しても操作できます。

予約を全て取り消すには

カーソル［▲、▼、◀、▶］を操作して “ オールクリア ” を選び **[ENTER]（決定）**を押す

C 順不同に再生する（ランダム再生）

DVD-A VCD CD

1 ＜DVD オーディオのみ＞

カーソル［◀、▶］を操作して
グループを選び［ENTER］（決定）を押す（複数選べます。）

- リモコンの**数字ボタン**で選ぶこともできます。

2 [▶]（再生）を押す

■DVD オーディオで選んだグループを取り消すには

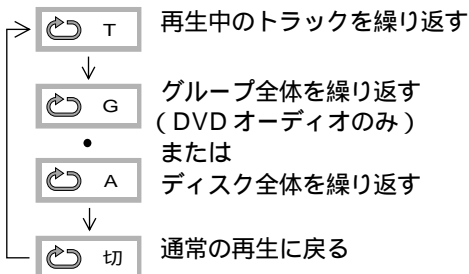
1 **カーソル［◀、▶］**を操作して取り消すグループを選ぶ
2 リモコンの **[取消し]** または **[ENTER]（決定）**を押す
- リモコンの**数字ボタン**でグループ番号を直接入力しても取り消すことができます。

再生の種類を切り換える

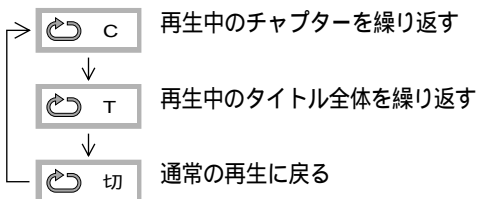
繰り返し再生する

DVD-A　DVD-V　VCD※　CD

再生中 本体の［REPEAT］を押して
リピート再生の種類を切り換える
ボタンを押すたびに切り換わります。

＜DVD オーディオ／ビデオ CD ／ CD＞

DVD オーディオのオールグループ／プログラム／ランダム再生時は“ G ”ではなく“ A ”と表示されます。

＜DVD ビデオ＞

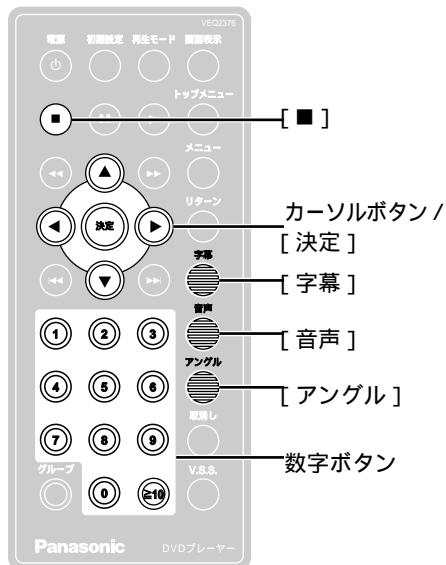
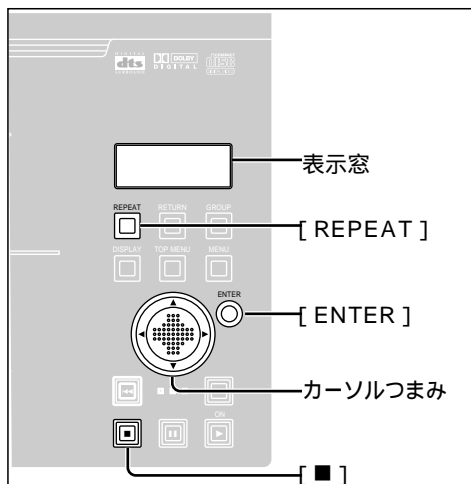
表示窓
［REPEAT］
［ENTER］
カーソルつまみ
［■］

<※プレイバックコントロール付ビデオ CD の場合>

メニュー再生を解除してから操作してください。

1 再生中［■］を押して表示窓の“ PbC ”を消す
2 リモコンの**数字ボタン**でトラックを選び再生を始める
3［REPEAT］を押す（☞ 上記）

お知らせ

- ディスクによって働かないものがあります。
- 再生中、表示窓に経過時間が表示されないときは働きません。
- トラック／チャプターリピート時は“ 1 ⭮ ”が、ディスク／グループ／タイトルリピート時は“ ⭮ ”が表示窓に点灯します。

表示窓
点灯—1

音声・字幕・アングルを切り換える リモコンのみ

音声切換

DVD-A　DVD-V

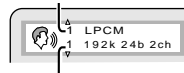
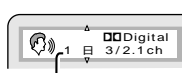
再生中

[音声] を押す

押すたびに音声が切り換わります。

＜DVD オーディオ＞　＜DVD ビデオ＞

現在の音声番号

1 日 Digital 3/2.1ch

選んだ音声番号
(2 つ目の音声が記録されていないときも通常“ 2 ”までは表示)

音声番号
(音声が記録されていないときは“ ー＊ ”と表示)

こんなこともできます

音声の切換機能を使ってカラオケソフトのボーカルを切り換えることができます。
(☞ 36 ページ)

字幕切換

DVD-V

再生中

[字幕] を押す

押すたびに字幕言語が切り換わります。

字幕番号
(字幕が記録されていないときは“ --＊ ”と表示)

■字幕を「入」「切」するには

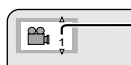
カーソル [◀、▶] を操作する

アングル切換

DVD-V

再生中

[アングル] を押す

押すたびにアングルが切り換わります。

アングル番号

■“ ⃠ ”を表示したときは

ディスクに記録されていない音声／字幕／アングル番号を選んでいるため、入力できません。

■表示を消すには

[決定] (ENTER) を押す

しばらく放置しておいても自然に消えます。

お知らせ

- **カーソル[▲、▼]**や**数字ボタン**で音声／字幕／アングル番号を選ぶこともできます。
- DVD ビデオの場合、一つしか音声／字幕／アングルが記録されていない場合は、“ △、▽ ”マークは表示しません。

入
1 日

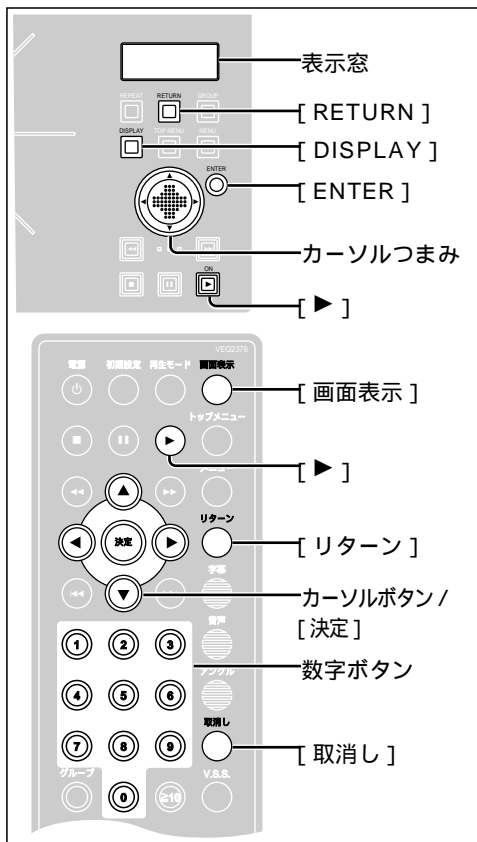
- 変更後の言語で字幕が表示されるまでには少し時間がかかることがあります。
- 最初から好みの言語で聞きたい／見たい場合は、音声／字幕言語の設定を行ってください。(☞27 ページ、“ 1 ディスク言語 ”)
  電源を入れたときやディスクを入れ替えたときはその設定が優先されます。
- メニュー画面でのみ音声／字幕／アングルの切り換えができるディスクもあります。
- アングル切り換えは複数のアングルが記録されている場面でのみ働きます。
  あらかじめアングル番号を指定しておくことができるディスクもあります。ディスクのジャケットなどもご参照ください。

絵表示（GUI 画面）を使って操作する

GUI（Graphical User Interface）とは「画面を見ながら操作ができる」ことを意味し、本機の場合は、ディスクや本機の情報などを表示する画面表示を「GUI 画面」と呼びます。情報を確認しながら内容を変更することにより、様々な操作ができます。

こんなこともできます

下記の操作は GUI 画面でのみ可能です。
くわしくは 24、25 ページをご覧ください。

- **経過時間／時間表示モード**
- **静止画番号**
- **A-B リピート再生**
- **シネマボイスモード「入」「切」**
- **マーカー**
- **V.S.S.モード**

基本操作

1 再生中／停止中
[DISPLAY]（画面表示）を押して
GUI 画面を表示する

押すたびに画面が切り換わります。

表示例）DVD ビデオの場合

ディスクの情報画面（☞24 ページ）
グループ／トラック／タイトル／チャプターを選んだり、音声／字幕／アングルを切り換えたりできます。

↓

本機の情報画面（☞25 ページ）
お好みの箇所にマークを付けたり、リピート再生などができます。

↓

シャトル画面（☞23 ページ）
早送り／早戻しや、スロー再生ができます。

2 **カーソル[▲、▼、◀、▶]**を操作して
項目を選ぶ

選ばれた項目が黄色の枠で表示されます。

3 **カーソル[▲、▼]**を操作して
内容を変更する

- シャトル画面の場合は手順 3 は不要です。
- リモコンの**数字ボタン**で変更できるものもあります。
- 変更が実行されないときは**[ENTER]（決定）**または **[▶]（再生）**を押してください。

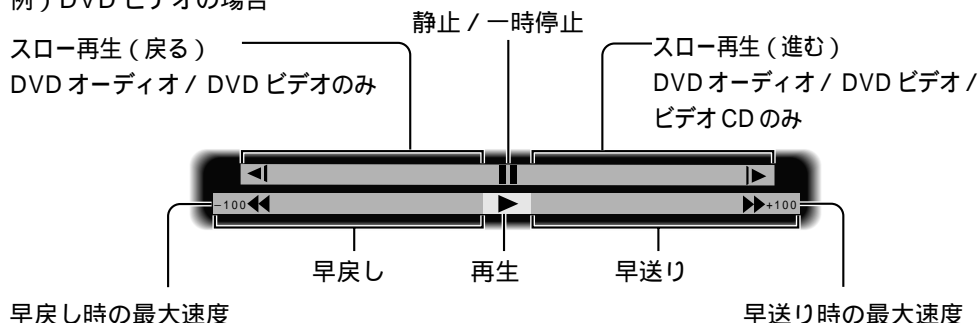
■ GUI 画面を消すには

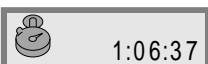
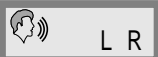
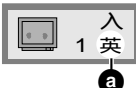
[RETURN]（リターン）またはリモコンの**[取消し]** を押す

お知らせ

- GUI 画面が欠けたり、表示されなかったりする場合、表示される位置を変えることができます。色を変えることもできます。（☞29 ページ“4 オンスクリーン”）
- 22 〜 25 ページのイラストは一例です。表示内容はディスクや再生状態によって異なります。
- ディスクや再生状態（停止中など）によって操作できないものがあります。
- 枠の“△、▽”マークは**カーソル［▲、▼］**で変更できることを示します。

シャトル画面

例）DVD ビデオの場合

※ 早送り／早戻しの速度を変えても数値は変わりません。最大速度を表示しています。

- 早送り／早戻し、スロー再生の速度は 5 段階あり、**カーソル［◀、▶］**を操作し続けると（または操作するたびに）変化します。
- 静止（一時停止）中に“❚❚”を**カーソル[▲]**で操作するとコマ送りできます。（DVD オーディオ／ DVD ビデオ／ビデオ CD のみ）
- DVD オーディオの場合、スロー再生／コマ送りは動画部でのみ働きます。

ディスクの情報画面

表示	内容
G 1 T 1	**グループ番号／トラック番号**（DVD オーディオ）： 番号を選ぶとそのグループ／トラックの再生開始
T 1	**トラック番号**（ビデオ CD ／ CD）／**タイトル番号**（DVD ビデオ）： 番号を選ぶとそのトラック／タイトルの再生開始
C 30	**チャプター番号**（DVD ビデオ）： 番号を選ぶとそのチャプターの再生開始
1:06:37	**経過時間**（DVD オーディオ／ DVD ビデオ）： リモコンの**数字ボタン**で指定した時間から再生開始 例）1 時間 6 分 37 秒から再生するとき **[1]→[0]→[6]→[3]→[7]→[ENTER]（決定）**
3:37	**時間表示モード**（DVD オーディオ／ビデオ CD ／ CD）： **カーソル[▲、▼]**を操作するたびに表示変更 トラックの経過時間←→トラックの残り時間←→グループ／ディスクの残り時間
例）DVD ビデオの場合 DDDigital 1 日 3/2.1ch ⓐ ⓑ	**音声番号**（DVD オーディオ／ DVD ビデオ）： 番号を選ぶとその音声で再生 ⓐ：番号に割りあてられた言語（☞ 下記「音声／字幕言語」） ⓑ：番号に割りあてられた音声属性（☞ 下記「音声属性」）
L R	**音声チャンネル**（ビデオ CD）：チャンネルを選ぶとその音声で再生 LR ←→ L ←→ R （左右チャンネル） （左チャンネル） （右チャンネル）
Page 1	**静止画番号**（DVD オーディオ）：番号を選ぶとその画像で再生 “ RETURN ” が表示される場合、それを選ぶと多くのディスクでメニュー画面になります。
入 1 英 ⓐ	**字幕番号／字幕「入」「切」**（DVD ビデオ）： 番号を選ぶと、その言語で再生／字幕の「入」「切」の選択 ⓐ：番号に割りあてられた言語（☞ 下記「音声／字幕言語」）
1	**アングル番号**（DVD ビデオ）： 番号を選ぶとそのアングルで再生
PBC 切	**メニュー再生の「入」「切」状態表示** （プレイバックコントロール付ビデオ CD）：内容変更はできません。

音声／字幕言語

日：日本語
英：英語
仏：フランス語
独：ドイツ語
伊：イタリア語
西：スペイン語
蘭：オランダ語
中：中国語
露：ロシア語
韓：韓国語
＊：その他

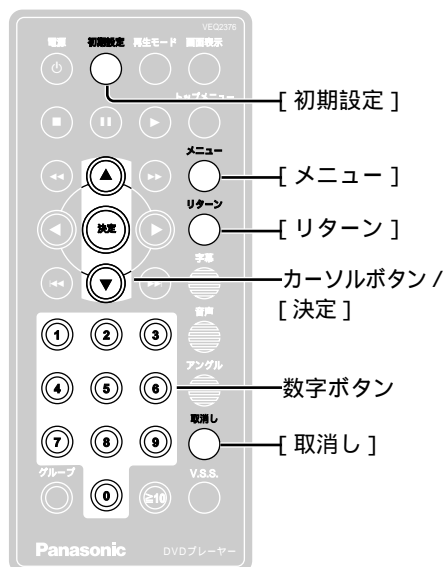
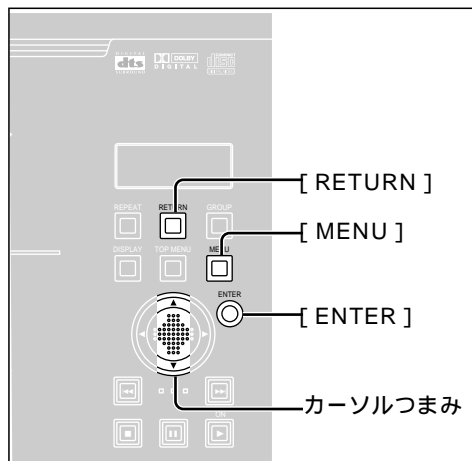
音声属性

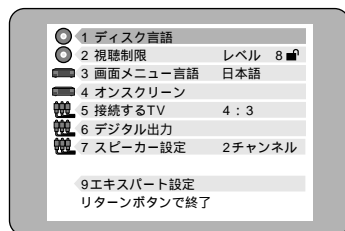
PPCM ／ LPCM ／ DDDigital ／ DTS ：信号タイプ
k：サンプリング周波数　b：ビット数　ch：チャンネル数
Vocal：カラオケディスクのボーカル表示
（**カーソル[▲、▼]**で切り換えることができます。）
＜ソロ＞ ---←→入
＜デュエット＞ ---←→V1 ＋ V2←→V1←→V2

本機の情報画面

. .	**A-B リピート再生：**指定した 2 点間を繰り返し再生 再生中**[ENTER]（決定）**を押すたびに A. ──→ AB ──→ . . （A 点を指定）　（B 点を指定）（A-B リピート再生が始まる）　（通常の再生に戻る） ● 同一トラック／タイトル内でのみ可能です。 ● B 点を指定する前にトラック／タイトルが終わったときは、その終了点が B 点として指定されます。 ● A-B リピート時は“ A⮌B ”が表示窓に点灯します。
切	**リピート再生：**再生の種類を選ぶと繰り返し再生開始 （DVD オーディオ／ビデオ CD ／ CD） T（トラック）←→ G（グループ）／A※（ディスク全体）←→ 切（通常再生） ※ DVD オーディオの場合、オールグループ／プログラム／ランダム再生時は“ A ”と表示されます。 （DVD ビデオ） C（チャプター）←→ T（タイトル）←→ 切（通常再生） ● トラック／チャプターリピート時は“ 1 ⮌ ”が、ディスク／グループ／タイトルリピート時は“ ⮌ ”が表示窓に点灯します。
---	**再生モード表示**（DVD オーディオ／ビデオ CD ／ CD）**：** 内容変更はできません。 ALL：オールグループ　PRG：プログラム　RND：ランダム　---：通常
切	**シネマボイスモード「入」「切」** （ドルビーデジタル／ DTS 3ch 以上のディスク）**：** “ 入 ”を選ぶとセンターチャンネルのセリフの音量が上がる
*****	**マーカー：**もう一度再生したいところにマークをつける（最大 5 カ所） **[ENTER]（決定）**を押してからマークしたいところでもう一度押す ● 2 回目以降はまず**カーソル[▶]**を操作してください。 ● 電源を切るか、ふたを開けるまでマーク番号は保持されています。 **■マークを呼び出す** **カーソル[◀、▶]** でマークを選び **[ENTER]（決定）**を押す **■マークを取り消す** **カーソル[◀、▶]** でマークを選び リモコンの**[取消し]**を押す
切	**V.S.S.モード／ V.S.S.レベル** （ドルビーデジタル 2ch 以上のディスク）**：**選んだモード／レベルで再生 〈V.S.S.モード〉 （V.S.S.）←→（ヘッドホン V.S.S.） 〈V.S.S.レベル〉 1（標準）←→ 2（強） ↳ 切（解除）↲

初期設定を変更する

再生時の言語、表示、視聴制限などの設定を変更することができます。
" DVD ビデオモード "（☞30 ページ）の設定以外は電源を切っても次に変更するまで保持されます。

設定方法

1 停止中
[初期設定] または **[MENU]（メニュー）** を押して
初期設定画面を表示する

2 カーソル［▲、▼］を操作して
項目／内容を選び、
［ENTER］（決定）を押す
必要なだけ繰り返してください。

<初期設定の種類>

1 **ディスク言語**（☞27 ページ）
音声／字幕／ディスクメニューの言語変更

2 **視聴制限**（☞28 ページ）
視聴制限の設定／変更

3 **画面メニュー言語**（☞28 ページ）
画面に表示される言語変更

4 **オンスクリーン**（☞29 ページ）
画面表示の有無、色／位置変更

5 **接続する TV**（☞11 ページ）
接続するテレビに合わせた設定

6 **デジタル出力**（☞40 ページ）
接続するデジタル機器に合わせた設定

7 **スピーカー設定**（☞38 ページ）
接続するスピーカーに合わせた設定

9 **エキスパート設定**（☞29 ページ）
スチルモードなどの特殊な設定変更

■ひとつ前の画面に戻るには

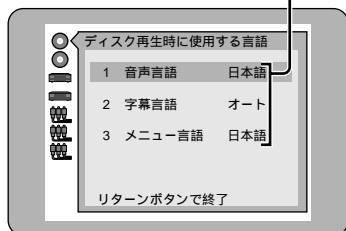
[RETURN]（リターン） を押す

■設定を終了するときは

初期設定画面が消えるまで
[RETURN]（リターン） を数回押す

1 ディスク言語（設定方法 ☞26 ページ）

DVD オーディオ／ DVD ビデオの再生時に使う各種言語が設定できます。
設定した言語が、ディスクに記録されていない場合や、ディスク側であらかじめ優先言語が決められている場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。

出荷時の設定

1 音声言語（DVD ビデオのみ）
日本語／英語／オリジナル※1 ／その他＊＊＊＊※3

2 字幕言語（DVD ビデオのみ）
オート※2 ／日本語／英語／その他＊＊＊＊※3

3 メニュー言語
日本語／英語／その他＊＊＊＊※3

※1 ディスクの最優先言語です。
※2 “音声言語”で選んだ言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。
※3 リモコンの**数字ボタン**でお好みの言語の言語番号（☞ 下記）を入力し、**[ENTER]（決定）**を押してください。
間違った数字を入力してしまったときはリモコンの**[取消し]**を押すと取り消せます。

言語番号一覧表

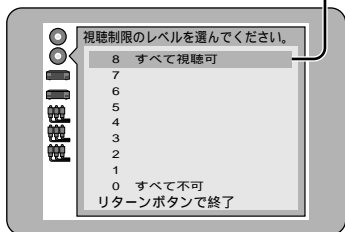
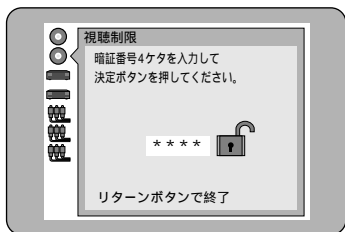
言語	番号	言語	番号	言語	番号	言語	番号
アイスランド	7383	カンナダ	7578	タタール	8484	フリジア	7089
アイマラ	6588	カンボジア	7577	タミル	8465	ブータン	6890
アイルランド	7165	キルギス	7589	タガログ	8476	ブルガリア	6671
アゼルバイジャン	6590	ギリシャ	6976	タジク	8471	ブルターニュ	6682
アッサム	6583	クルド	7585	チェコ	6783	ヘブライ	7387
アファル	6565	クロアチア	7282	中国語	9072	ベトナム	8673
アフリカーンス	6570	グアラニー	7178	チベット	6679	ベロルシア（白ロシア）	6669
アブハジア	6566	グジャラト	7185	ティグリニア	8473		
アムハラ	6577	グリーンランド	7576	テルグ	8469	ベンガル（バングラ）	6678
アラビア	6582	グルジア	7565	デンマーク	6865		
アルバニア	8381	ケチュア	8185	トウイ	8487	ペルシャ	7065
アルメニア	7289	ゲール（スコットランド）	7168	トルクメン	8475	ポーランド	8076
イタリア	7384			トルコ	8482	ポルトガル	8084
イディッシュ	7473	コーサ	8872	トンガ	8479	マオリ	7773
インターリングア	7365	コルシカ	6779	ドイツ	6869	マケドニア	7775
インドネシア	7378	サモア	8377	ナウル	7865	マライ（マレー）	7783
ウェールズ	6789	サンスクリット	8365	日本語	7465	マラッタ	7782
ウォロフ	8779	ショナ	8378	ネパール	7869	マラヤーラム	7776
ヴォラピュック	8679	シンド	8368	ノルウェー	7879	マルタ	7784
ウクライナ	8575	シンハラ	8373	ハウサ	7265	マダガスカル	7771
ウズベク	8590	ジャワ	7487	ハンガリー	7285	モルダビア	7779
ウルドゥー	8582	スウェーデン	8386	バシキール	6665	モンゴル	7778
英語	6978	スロバキア	8375	バスク	6985	ヨルバ	8979
エストニア	6984	スロベニア	8376	パシュト	8083	ラオ	7679
エスペラント	6979	スワヒリ	8387	パンジャブ	8065	ラテン	7665
オーリヤ	7982	スンダ	8385	ヒンディー	7273	ラトビア（レット）	7686
オランダ	7876	スペイン	6983	ビハール	6672		
カザフ	7575	ズールー	9085	ビルマ	7789	リトアニア	7684
カシミール	7583	セルビア	8382	フィジー	7074	リンガラ	7678
カタロニア	6765	セルボクロアチア	8372	フィンランド	7073	ルーマニア	8279
ガリチア	7176	ソマリ	8379	フェロー	7079	レトロマンス	8277
韓国（朝鮮）語	7579	タイ	8472	フランス	7082	ロシア	8285

初期設定を変更する（つづき）

2 視聴制限（設定方法 ☞26 ページ）

お子様などに見せたくない成人向けの DVD ビデオがそのまま再生されないようにできます。暗証番号を入力しない限り、再生や設定の変更はできません。

出荷時の設定

視聴制限のレベルを選んでください。
8 すべて視聴可
7
6
5
4
3
2
1
0 すべて不可
リターンボタンで終了

レベル 8　：すべてのディスクが再生可

レベル 7 〜 1　：制限レベルの記録されているディスク（成人向けや暴力シーンを含むもの）が再生不可

レベル 0　：すべてのディスクが再生不可

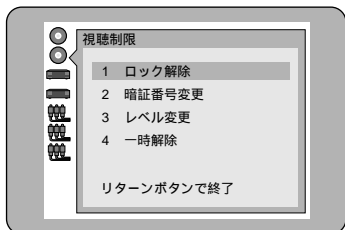
● レベル 7 以下を選んだときはリモコンの**数字ボタン**で暗証番号 4 ケタを入力し、**[ENTER]（決定）**を押してください。（ロックがかかります。）
間違った数字を入力してしまったときはリモコンの**[取消し]**を押すと取り消せます。

レベル 7 〜 0 のとき

お願い

● ロックすると正しい暗証番号を入力しない限り、設定内容を変更できなくなりますので、暗証番号は忘れないようにしてください。

● 制限レベルが記録されていないディスクを制限したいときは“ 0 すべて不可 ”を選んでください。

視聴制限
1 ロック解除
2 暗証番号変更
3 レベル変更
4 一時解除
リターンボタンで終了

■制限内容を変更するには（レベル 7 〜 0 のとき）

まずリモコンの**数字ボタン**で暗証番号 4 ケタを入力し、**[ENTER]（決定）**を押してください。

1 ロック解除　：制限を解除してレベル 8 に戻す

2 暗証番号変更　：暗証番号を変更する

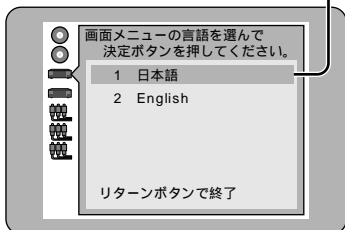
3 レベル変更　：制限レベルを変更する

4 一時解除　：一時的に制限を解除する

● “ 4 一時解除 ” を選ぶと、電源を切るかふたを開けるまでレベル 8 の状態が続きます。

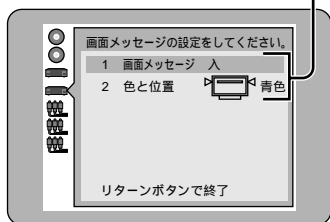
3 画面メニュー言語（設定方法 ☞26 ページ）

“ 再生 ” などの画面表示や GUI 画面、初期設定画面の言語を選べます。

出荷時の設定

1 日本語

2 English（英語）

4 オンスクリーン（設定方法 ☞26 ページ）

“ 再生 ” ／“ 停止 ” などの画面表示の有無を選べます。（“ 画面メッセージ ”）
また、これらの画面表示や GUI 画面の色／位置が選べます。（“ 色と位置 ”）

1 画面メッセージ
入／切

2 色と位置

1 青色　2 紫色　3 緑色

4 青色※　5 紫色※　6 緑色※

※表示画面の上端が欠けているときに選んでください。

9 エキスパート設定（設定方法 ☞26 ページ）

以下の特殊な設定ができます。

出荷時の設定

1 スチルモード（☞ 下記）：静止時のモードを選ぶ

2 早送り時の音声（☞30 ページ）：
DVD ビデオ／ビデオ CD の早送り 1 速時に音声を出すかどうかを選ぶ

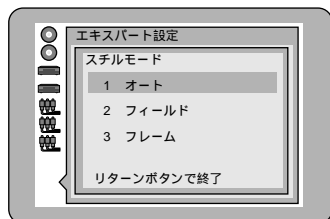
3 TV モード（4 ： 3）（☞30 ページ）：
標準サイズ（4 ： 3）のテレビでワイドソフトを再生するときの画面を選ぶ

4 音声のダイナミックレンジ圧縮（☞30 ページ）：
小さい音と大きい音の音量差を縮める
（ドルビーデジタルで記録された DVD ビデオのみ）

5 I ／ P ／ B インジケーター（☞30 ページ）：
静止時に画像の種類（I ／ P ／ B）を表示するかどうかを選ぶ（DVD ビデオのみ）

6 DVD ビデオモード（☞30 ページ）：
DVD オーディオを DVD ビデオとして再生するかどうかを選ぶ

“ 早送り時の音声 ” について

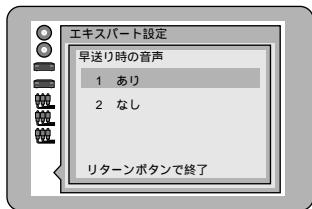
- DVD オーディオ／ CD の場合は、設定に関係なく早送り／早戻し時にすべての速度で音が出ます。
- DTS で記録された CD の場合は、設定に関係なく早送り／早戻し時に音が出ません。

<スチルモード>（「フレーム／フィールド」☞44 ページ）

1 オート　：フレームスチルとフィールドスチルを自動的に切り換える

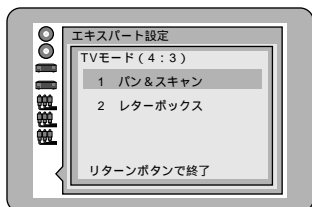
2 フィールド　：常にフィールドスチルモードになる
（“ オート ” 設定時に、画像のブレが発生するとき）

3 フレーム　：常にフレームスチルモードになる
（“ オート ” 設定時に、小さい文字や細かい絵柄がはっきり見えないとき）

（次ページに続く）

初期設定を変更する（つづき）

＜早送り時の音声＞

1　あり

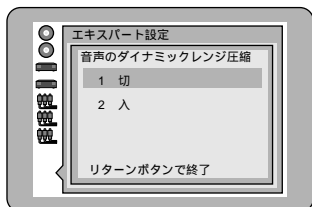
2　なし（“ あり ” に設定して耳障りなとき）

＜ TV モード（4 ： 3）＞

1 パン＆スキャン※1 **：**両側または片側の切れた画面で再生

2 レターボックス※2 **：**上下に黒帯の入った画面で再生

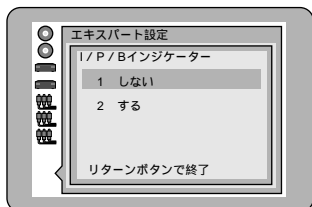
※1

※2

- ディスク側であらかじめパン＆スキャンやレターボックスが指定されているときは、その指定が優先されます。

＜音声のダイナミックレンジ圧縮＞

（「ダイナミックレンジ」☞44 ページ）

1　切

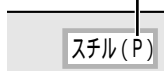
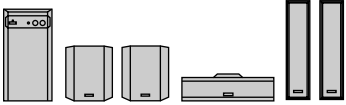
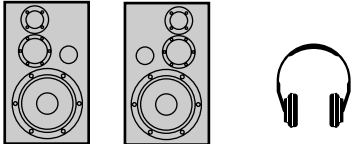
2　入（小音量でも聞き取りやすい音声で映画を楽しみたいときなど）

＜ I ／ P ／ B インジケーター＞

（「I ／ P ／ B」☞44 ページ）

1　しない

2　する　**：**静止時に画像の種類を表示

例）P-picture のとき

スチル（P）

＜ DVD ビデオモード＞

1 しない： DVD オーディオをそのまま再生するとき

2 する　： DVD オーディオを DVD ビデオとして再生するとき

- 電源を切るかふたを開けると、設定値は “ しない ” に戻ります。

他の機器と組み合わせる

くわしくは各ページをご参照ください。『』内は機器に合わせて内容変更が必要な初期設定の項目です。

こんなときは		こんな方法があります	参照ページ
3本以上のスピーカーでドルビーデジタルやDTSなどのサラウンドサウンドを楽しむ	アナログ接続	AVアンプ（5.1ch音声入力端子付）と接続する **『7 スピーカー設定』**	32、38
	デジタル接続	AVアンプ（デコーダー内蔵）と接続する **『6 デジタル出力』**	33、40
2本のスピーカーやヘッドホンでステレオサウンドを楽しむ	アナログ接続	アナログアンプ（ドルビープロロジックアンプを含む）やミニコンポと接続する **『7 スピーカー設定』**	34、38
	デジタル接続	デジタルアンプやミニコンポと接続する **『6 デジタル出力』**	34、40
		アクティブスピーカーシステムを接続する	35
		ヘッドホンを接続する	35

こんなこともできます

- **MDやカセットテープに録音する**（☞35ページ）
- **カラオケソフトのボーカルを切り換える**（☞36ページ）
- **2本のスピーカーやヘッドホンでサラウンド効果を楽しむ**（☞37ページ）

お知らせ

デジタル接続時はDVDオーディオのリニアPCM信号が常に48 kHz以下に変換されます。192 kHzや96 kHzでディスクを楽しみたいときは、アナログ接続してください。

192 kHzで記録されたディスクの再生中は表示窓に“192 kHz”が点灯します。

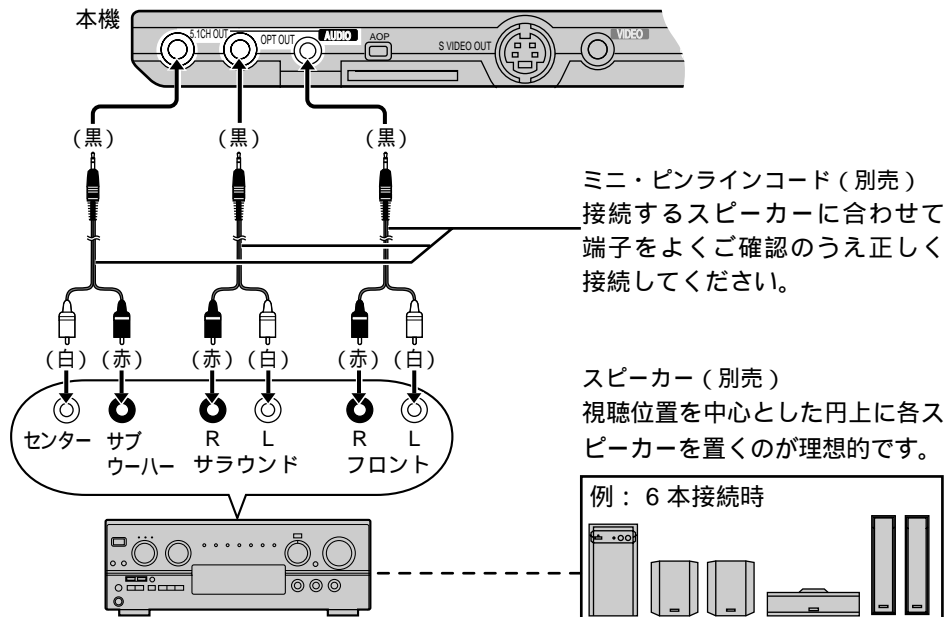
- 接続の前に、接続する機器と本機の電源を切り、それぞれの機器の説明書もご参照ください。
- 別売品の品番については裏表紙をご参照ください。

より迫力ある音声で楽しむ

3 本以上のスピーカーでサラウンドサウンドを楽しむ

＜アナログ接続＞

本機はドルビーデジタル／ DTS デコーダーを内蔵していますので、以下の接続だけで迫力あるサラウンドサウンドをお楽しみいただます。

1　5.1ch 音声入力端子付 AV アンプと接続する

5.1ch 音声入力端子付 AV アンプ（別売）

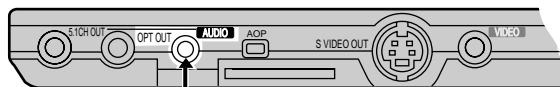
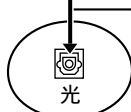
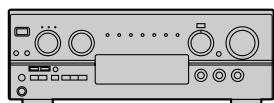
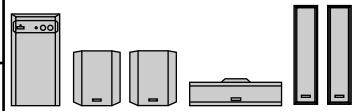
● サブウーハーを接続しない場合は、フロントに 100 Hz 以下の低音を再生できるスピーカーを接続することをお薦めします。

2　接続したスピーカーに合わせて設定する（☞38 ページ）

お願い

V.S.S.／ヘッドホン V.S.S.（☞37 ページ）は“ OFF ”（解除）にしてください。“ 1 ”（標準)、“ 2 ”（強）に設定すると、フロント(L ／ R）以外のスピーカーから音が出ません。

<デジタル接続>

1 デコーダー内蔵の AV アンプ（デコーダー+AV アンプ）と接続する

2 接続したデジタル機器に合わせて設定する（☞40 ページ）

お知らせ

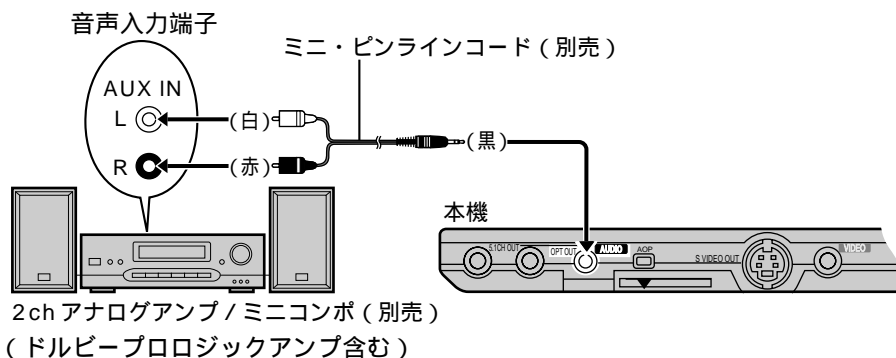
DVD ビデオに対応していない DTS デコーダーは使用できません。

ステレオサウンドをもっと楽しむ

2 本のスピーカーで楽しむ

<アナログ接続>

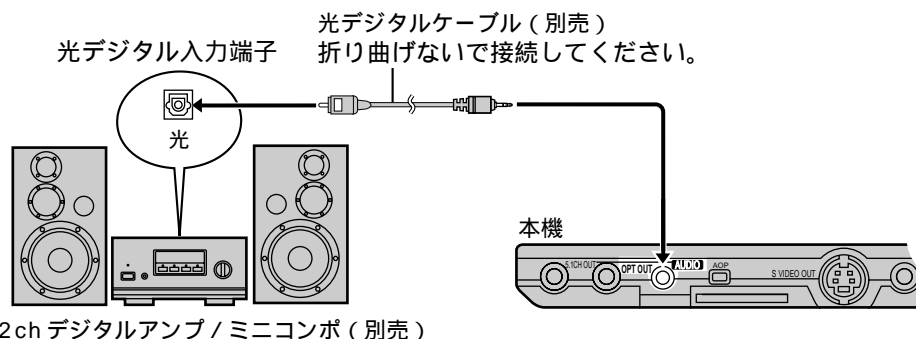
1　2ch アナログアンプやミニコンポと接続する

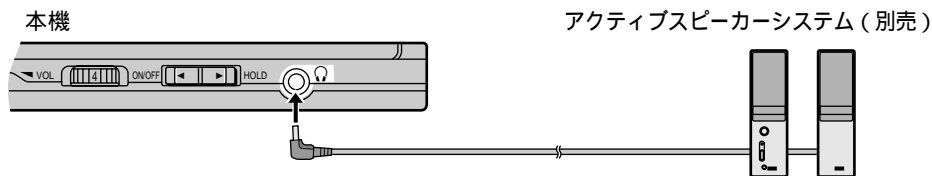
2ch アナログアンプ／ミニコンポ（別売）
（ドルビープロロジックアンプ含む）

2　スピーカーの設定を " 2 チャンネル " に設定する（☞38 ページ）

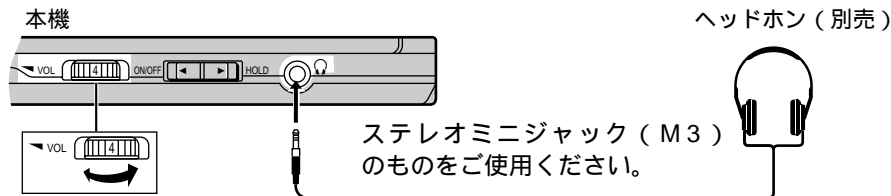
> **ドルビープロロジックのサラウンド効果を楽しむには**
> （「ドルビープロロジック」☞44 ページ）
> 上記の接続例に加えて、センター、サラウンドのスピーカーが別途必要となります。接続した機器の説明書をご参照ください。
> - また、この場合 V.S.S.／ヘッドホン V.S.S.（☞37 ページ）は " OFF "（解除）にしてください。" 1 "（標準）、" 2 "（強）に設定するとサラウンド効果が正しく働きません。

<デジタル接続>

1　2ch デジタルアンプやミニコンポと接続する

2ch デジタルアンプ／ミニコンポ（別売）

2　接続したデジタル機器に合わせて設定する（☞40 ページ）

アクティブスピーカーシステムで楽しむ

ヘッドホンで楽しむ

いったん音量を下げて、接続してから音量を調節してください。

その他の楽しみかた

MD やカセットテープに録音する

<アナログ録音>
アナログ信号に変換された音声を、コピーガードの影響を受けずにカセットテープや MD に録音できます。

<デジタル録音>
デジタル信号のまま MD などに録音できます。ただし全ての信号がリニア PCM48 kHz 以下に変換されます。また、以下の条件が必要です。

- ディスクに著作権保護の処理がされていない。
- 録音側の機器がサンプリング周波数 48 kHz ／ 16 bit に対応している

<アナログ録音するには>

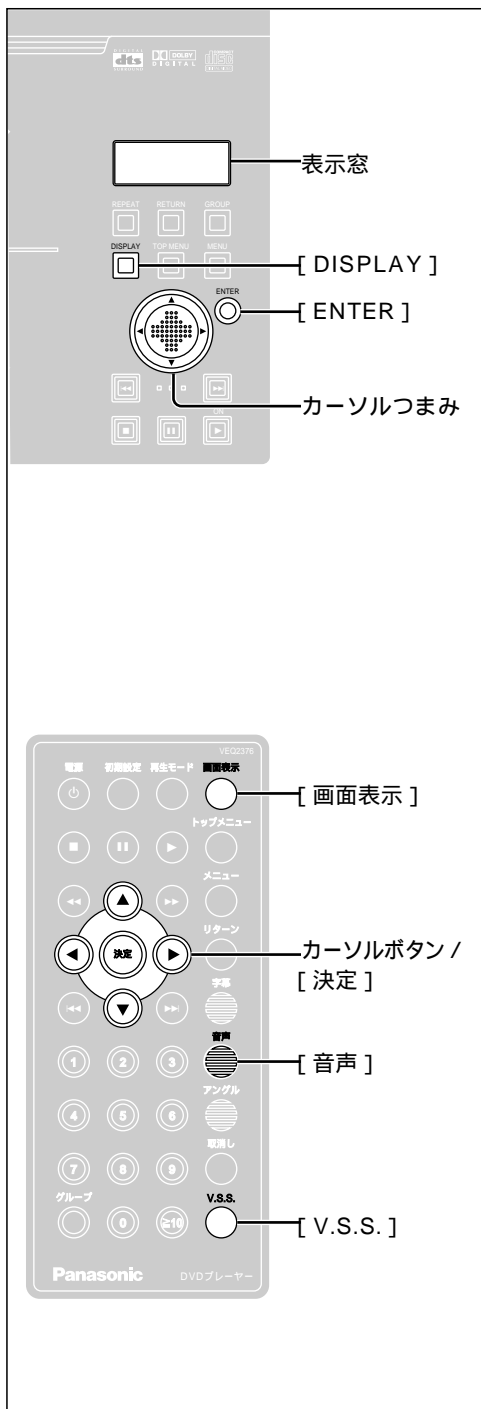
1 録音機器とアナログ接続する（☞32、34 ページ）
- 録音機器と直接接続したいときは、34 ページの接続方法を行ってください。

2 スピーカーの設定を " 2 チャンネル " に設定する（☞38 ページ）
- " マルチチャンネル " に設定していると、フロント（L ／ R)の音声しか録音されません。

<デジタル録音するには>

1 録音機器とデジタル接続する（☞33、34 ページ）
- 録音機器と直接接続したいときは、34 ページの接続方法を行ってください。

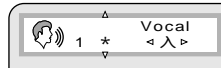
2 デジタル出力の設定をする（☞40 ページ）
- 以下のように設定してください。

" PCM ダウンサンプリング変換 "：" する "
" Dolby Digital " / " DTS Digital Surround "　：" PCM "

カラオケソフトのボーカルを切り換える リモコンのみ

（カラオケディスク）

準備

マイク入力端子付のAVアンプなどに接続してください。（☞32～34ページ）

1 再生中
［音声］を押す

<DVDビデオ> <ビデオCD>

2 **<DVDビデオの場合>**
カーソル［◀、▶］を操作して
ボーカルを切り換える
以下のように切り換わります。
- ソロディスク
---※1（切）↔入
- デュエットディスク
---※1（切）↔1＋2（入）↔V1※2（入）↔V2※2（入）

<ビデオCDの場合>
カーソル［▲、▼］を操作して
または**［音声］**を押して
ボーカルを切り換える
以下のように切り換わります。
LR：ボーカルあり（右よりに聞こえる）
L※1：ボーカルなし
R：ボーカルあり（左右均等に聞こえる）

※1 カラオケができます。
※2 一人でもデュエットができます。

■表示を消すには

［決定］（ENTER）を押す
しばらく放置しておいても自然に消えます。

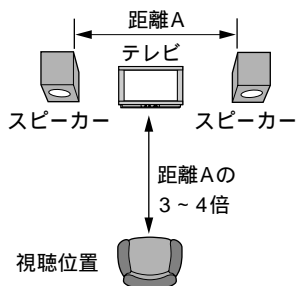
2 本のスピーカーやヘッドホンでサラウンド効果を楽しむ

	DVD-V		

準備

- 外部スピーカーやヘッドホンと接続してください。(☞34、35 ページ)
- 接続した機器のサラウンド機能を「切」にしてください。

V.S.S.（バーチャルサラウンドサウンド）機能を使うと音に広がりを与え、フロントスピーカー（L ／ R）やヘッドホンだけでサラウンド効果を楽しむことができます。
V.S.S.には以下の 2 つのモードがあります。
V.S.S.　　　　　：スピーカーで楽しむ
ヘッドホン V.S.S.：ヘッドホンで楽しむ
出荷時は V.S.S.に設定されています。

＜サラウンド信号があるディスクの場合＞
音に広がりが出るほか、スピーカーの存在しない横方向からもサラウンド信号が出ているように聞こえます。

（ドルビーデジタル 2ch 以上のディスク）

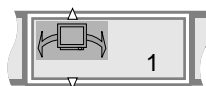
再生中リモコンの［**V.S.S.**］を押して
効果のレベルを切り換える

押すたびに表示窓の文字が切り換わります。

1（標準） ――――→ **2（強）**
↑―― **OFF（解除）** ←――┘

- GUI 画面を使っても同様の操作ができます。(☞25 ページ「V.S.S.モード／ V.S.S.レベル」)

■ V.S.S.モードを切り換えるには

1. 再生中[**DISPLAY**]（**画面表示**）を押して GUI 画面（本機の情報画面 ☞25 ページ）を表示する
2. **カーソル[◀、▶]**を操作して V.S.S.アイコンを選ぶ

3. **カーソル[▲、▼]**を操作して V.S.S.モードを選ぶ

＜ V.S.S.＞　　＜ヘッドホン V.S.S.＞

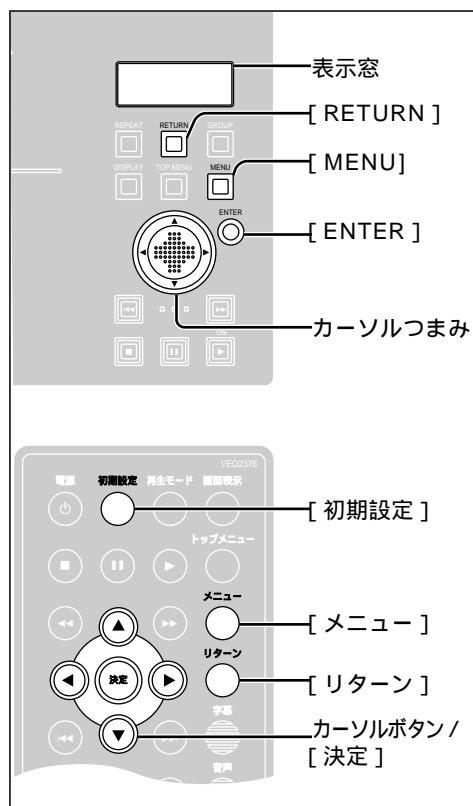
接続した機器に合わせて正しく設定してください。

お知らせ

- V.S.S.が働いているときは表示窓に設定状態が表示されます。
  例）ヘッドホン V.S.S.の場合
  V.S.S. HP ―― 点滅したのち点灯
  SP ：V.S.S.のとき
  HP ：ヘッドホン V.S.S.のとき
- ディスクによってサラウンド効果が出にくいものや、出ないものがあります。
- ディスクによって音声がひずむことがあります。その場合は V.S.S.を“ OFF ”（解除）にしてください。

スピーカーの設定をする

準備

本機および接続した機器の電源を入れてください。

お知らせ

- 光デジタルケーブルでデジタル接続しているときは、接続した機器側で設定してください。
- マルチチャンネルのディスクを再生中は、表示窓に設定状態が表示されます。

“ マルチチャンネル ” に設定しているとき

“ 2 チャンネル ” に設定しているとき

表示窓の“ MULTI ”が点滅するときは、ディスク側の制約によりスピーカーの設定通りに音が出ない場合があります。

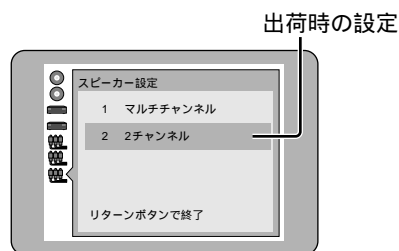
設定方法

1 停止中
[初期設定]または **[MENU]（メニュー）**を押して
初期設定画面を表示する

2 カーソル［▲、▼］を操作して
“ 7 スピーカー設定 ” を選び
[ENTER]（決定）を押す

3 カーソル［▲、▼］を操作して
項目を選び
[ENTER]（決定）を押す

出荷時の設定

スピーカー設定
1　マルチチャンネル
2　2チャンネル
リターンボタンで終了

- **マルチチャンネル**
（スピーカーを 3 本以上接続するとき）
- **2 チャンネル**
（スピーカーを 2 本接続するとき／ドルビープロロジックアンプを接続するとき）

“ 2 チャンネル ” を選ぶと初期設定画面に戻ります。

4 **<“ マルチチャンネル ” を選んだ場合>**
39 ページの画面が表示されます。
以下の手順でⓐⓑⓒを設定してください。

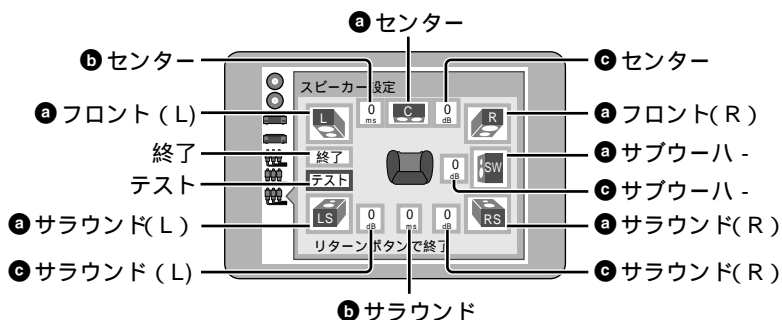
1 **カーソル［▲、▼、◀、▶］**で項目を選び**[ENTER]（決定）**を押す
2 **カーソル［▲、▼］**で内容を変更し、**[ENTER]（決定）**を押す

全て設定したら “ 終了 ” を選び **[ENTER]（決定）**を押してください。

5 **[RETURN]（リターン）**を押して
設定を終了する

■ひとつ前の画面に戻るには

[RETURN]（リターン）を押す

“ マルチチャンネル ” を選んだ場合の設定内容

ⓐ スピーカーの有無とサイズ

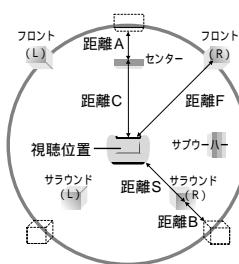
- **フロント（L ／ R）**：あり（大）／あり（小）
- **センター**：あり（大）／あり（小）／なし
- **サブウーハー**：あり／なし
- **サラウンド（L ／ R）**：あり（大）／あり（小）／なし

サラウンド（L）の場合の表示例

あり（大）　あり（小）　なし

大、小は 100 Hz 以下の低音を再生できる場合（大）かできない場合（小）かを目安にしてください。

ⓑディレイタイム

（ドルビーデジタルで記録された DVD ビデオのセンター／サラウンドチャンネルのみ）

すべてのスピーカーは左記のような円上に置くのが理想的ですが、置けない場合でもディレイタイムの設定をすると音声出力に遅延効果を与え仮想的に理想の視聴位置を実現します。

＜センター＞

距離 A ＝距離 F －距離 C

距離 A	設定値
約 50 cm	1.3 ms
約 100 cm	2.6 ms
約 150 cm	3.9 ms
約 200 cm	5.3 ms

＜サラウンド＞

距離 B ＝距離 F －距離 S

距離 B	設定値
約 200 cm	5.3 ms
約 400 cm	10.6 ms
約 600 cm	15.9 ms

ⓒ 出力バランス

1 “ テスト ” を選び**[ENTER]（決定）**を押す

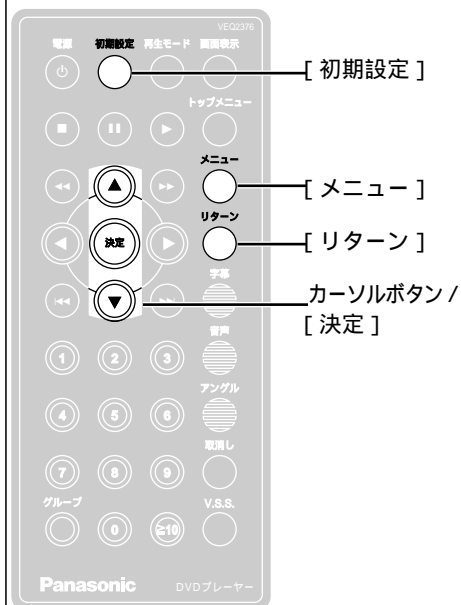
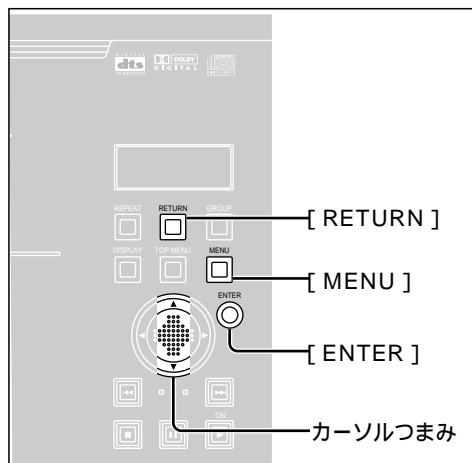
「ザー」というテスト音がフロントスピーカー（L）から時計周りに出力されます。フロントと同じ音量で聞こえるように各スピーカーの音量を**カーソル［▲、▼］**で調節してください。

2 [ENTER]（決定）を押す（音が止まります。）

- サブウーハーからはテストの音が出力されません。ディスクを再生し、音量を確認してから調節してください。

デジタル出力の設定をする

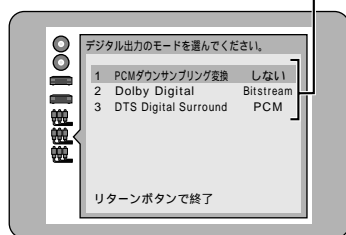
準備

本機および接続した機器の電源を入れてください。

設定方法

1 停止中
[初期設定]または **[MENU]（メニュー）** を押して
初期設定画面を表示する

2 カーソル［▲、▼］を操作して
“6 デジタル出力”を選び
[ENTER]（決定）を押す

3 カーソル［▲、▼］を操作して
項目／内容を選び
[ENTER]（決定）を押す

出荷時の設定

- **PCMダウンサンプリング変換**（DVDビデオのみ）：
  リニアPCM96 kHzで記録されたディスク再生時の出力
- **Dolby Digital**※：
  ドルビーデジタルで記録されたディスク再生時の出力
- **DTS Digital Surround**※：
  DTSで記録されたディスク再生時の出力

※ DVDオーディオは動画部でのみ設定効果があります。

4 [RETUPN]（リターン）を押して
設定を終了する

■ひとつ前の画面に戻るには

[RETURN]（リターン）を押す

設定内容

■ PCMダウンサンプリング変換

- **しない**（ミニ・ピン ラインコードでアナログ接続するとき）
- **する**　（光デジタルケーブルでデジタル接続するとき）
  著作権保護のため、出力は48 kHz／16 bit以下に制限されます。

<96 kHzで記録されたDVDビデオを再生するときは>

接続方法と設定値によって以下のような音声が出力されます。

接続方法 ＼ 設定値	アナログ接続	デジタル接続
しない	96 kHzで出力	出力しない （著作権保護の処理がされていないディスクの場合は96 kHzで出力※）
する	48 kHzに変換され出力	48 kHz／16 bitに変換され出力

※ ただし96 kHzの高音質でディスクを楽しむには、接続先の機器がサンプリング周波数96 kHzに対応していることが必要です。

■ Dolby Digital

- **Bitstream**（ドルビーデジタルデコーダーを内蔵する機器と接続するとき）
- **PCM**　　（ドルビーデジタルデコーダーを内蔵しない機器と接続するとき）

■ DTS Digital Surround

- **PCM**　　（DTSデコーダーを内蔵しない機器と接続するとき）
- **Bitstream**（DTSデコーダーを内蔵する機器と接続するとき）

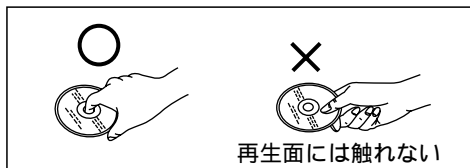
デジタル出力の設定をする

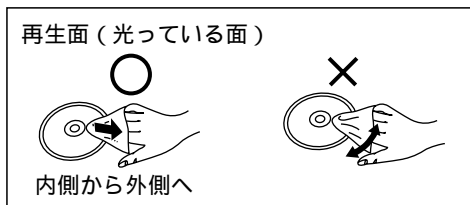
お願い

デコーダーを持たない機器に接続する場合、“Dolby Digital”と“DTS Digital Surround”は必ず“PCM”に設定してください。
正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損する恐れがあるほか、MDなどに正しく録音できません。

使用上のお願い・お手入れ

ディスクについて

■持ちかた

■汚れたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、あとは空ぶきしてください。

■露がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

■取扱上のお願い

ディスクそのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 傷つき防止用のプロテクターなど当社指定外の市販品は使わない
- 紙やシール、ラベルを貼らない
- シールやラベルがはがれかけたり、のりがはみ出しているディスクは使わない
- 市販のラベルプリンターで表面に印刷したディスクは使わない

ディスクの保管

次のような場所は避けてください。

- 直射日光の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 暖房器具の熱が直接当たるところ

故障防止のために

以下のことは避けてください。

- 強い衝撃、落下や雨にぬらす
- 揮発性の殺虫剤などをかける
- ふた内部のレンズなど光ピックアップ部に触れる

以下のような場所で使用しないでください。

- 風呂場など湿気の多いところ
- 倉庫などほこりが多いところ
- 浜辺など砂の多いところ
- アンプなど高温になる機器の上や、座布団やソファーの上

お手入れ

本機が汚れたら

柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後は空ぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

良い音でお楽しみいただくために

別売りのCDレンズクリーナーで定期的にお手入れすることをお薦めします。

推奨品：品番 RP-CL510

テレビに映し出される映像のサイズ（横：縦）

テレビに映し出される映像は、ディスクや接続するテレビによって以下のように異なります。
（※：ジャケット上のマーク）

ディスク ＼ テレビ（画面モード）	標準サイズ	ワイドサイズ（フルモード）	ワイドサイズ（ズームモード）	ワイドサイズ（オートモード）
ワイド（パン＆スキャン指定）※ 16:9 PS	左右が切れる	フル画面	上下が切れる	フル画面
ワイド（レターボックス指定）※ 16:9 LB	上下に黒帯が出る			
4 ： 3 ※ 4:3	フル画面	左右に伸びる	上下が切れる	フル画面（左右に黒帯）
4 ： 3（レターボックス）※ LB	上下に黒帯が出る	左右に伸びる（上下に黒帯）	フル画面	両端が左右に伸びる（上下に黒帯）

お知らせ

映し出される映像や画面モードの名称は、テレビのメーカーや種類により異なります。テレビに付属の説明書もご参照ください。

用語解説

トラック

DVD オーディオ／ビデオ CD ／ CD のディスクを分ける、いくつかの小さな区切りのことです。

タイトル／チャプター

DVD ビデオのディスクを分ける、いくつかの大きな区切り（タイトル）と小さな区切り（チャプター）のことです。

グループ

DVD オーディオのディスクに入っているトラックの組み合わせのことです。

プレイバックコントロール

ビデオ CD の再生方式のひとつで、表示されるメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を選ぶことができます。
本書ではメニュー画面を使って再生することを、ビデオ CD の「メニュー再生」と呼びます。

ドルビーデジタル

ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮技術です。ステレオ（2ch）はもちろん、5.1ch のサラウンド音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

DTS（Digital Theater Systems）

（デジタル シアター システム）

世界中の多くの映画館で採用されている 5.1ch のサラウンドシステムです。チャンネル間のセパレーションも良く、リアルな音響効果が得られます。

ドルビープロロジック

4 チャンネル信号を 2 チャンネルに記録し、再び 4 チャンネルの独立した信号に戻して再生するサラウンドシステムです。サラウンド信号はモノラルで、7 kHz まで再生されます。

Bitstream

（ビットストリーム）

デジタルに置き換えられ、圧縮された音声信号です。デコーダーによって、5.1ch などの独立したチャンネルの音声データにデコード（復号）されます。

リニア PCM 音声（LPCM）

圧縮せずにデジタルに置き換えられた音声信号です。DVD オーディオや DVD ビデオは容量が大きいため、CD 以上の精度でデータを収録することができます。
また、リニア PCM 信号をコンパクトにしたのものをパックド PCM（PPCM）といいます。

ダイナミックレンジ

機器が出すノイズにうもれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。

フレーム／フィールド

フレームとは、動画の 1 コマ 1 コマのことで、テレビの場合は、1 秒間に 30 コマの画像が映し出されています。1 フレームはさらにフィールドと呼ばれる 2 枚の画面からなっています。

フレーム　フィールド　フィールド

=
+
- フレームスチルのときは、2 枚のフィールドの間でブレを生じることがありますが、画質は良くなります。
- フィールドスチルのときは、情報量が少ないため画像は少し粗くなりますが、ブレを生じません。

I ／ P ／ B

DVD ビデオでは、データを効率よくディスクに収めるため、画面間で共通するデータは共用し、異なるデータは各画面ごとに記録するという方法をとっています。このとき共用データの基準画面として単独で記録されるフレームが **I-picture**、過去の I-picture を元につくられるフレームが **P-picture**、I ／ P 両方を元につくられ、両者の間をうめるフレームが **B-picture** です。
画質がもっとも良いのは I-picture です。
画質調整をするときは、I-picture で静止することをお薦めします。

Q & A（よくあるご質問）

	Q（質問）	A（回答）	参照ページ
使い方	**5.1ch サラウンド音声を楽しむには、どのような機器が必要か**	AV アンプ（5.1ch 音声入力端子付）と 6 本のスピーカーをご用意ください。本機にはドルビーデジタル／DTS デコーダーが内蔵されていますので、デコーダーを接続しなくても 5.1ch サラウンド音声が楽しめます。	32
	海外でも使えるか	地域に合わせた変換プラグをご用意いただくと、海外旅行にもお持ちいただけます。 ただし本製品は日本国内向けに設計されているため、海外で常時使用はしないでください。また、本機の映像方式は NTSC ですので、PAL 方式のテレビとつなぐことはできません。 保証は国内のみ有効です。	**
	海外で買った DVD ビデオを再生できるか	リージョン番号が「ALL」もしくは「2」を含んでいて、映像方式が NTSC であれば再生できます。ディスクのジャケットをご確認ください。	6、7
	リージョン番号がないディスクは再生できるか	DVD オーディオにリージョン番号はありません。 DVD ビデオのリージョン番号は、ディスクが規格に適合していることを表しています。規格を満たしていない DVD ビデオは再生できません。	**
	機内で使えるか	本機が出す電磁波により、飛行機の計器に影響を与えるおそれがあります。航空会社の指示に従ってください。	**
	車内で使えるか	車のシガレットライターソケットからは電源をとらないでください。故障するおそれがあります。 また運転中は使用しないでください。	**
	病院で使えるか	本機が出す電磁波により、医療機器に影響を与えるおそれがあります。病院の指示に従ってください。	**
	品番：DY-DB50 のバッテリーパックは使えるか	ご使用いただけません。本機専用のバッテリーパック（品番：DY-DB75）をお使いください。	**
接続	**パソコンと接続できるか**	AV 入力端子付のパソコンと接続すると、テレビのかわりにパソコンのモニターでディスクの再生をお楽しみいただけます。ただし、パソコンの周辺機器としてはお使いいただけません。	**

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

	こんなときは	ここを確認／処置してください	参照ページ
電源について	**電源が入らない**	電源に正しく接続されていますか？	8
		ホールド状態になっていませんか？	12
		バッテリーの残量を確認してください。	9
		バッテリーパック単独使用時は、リモコンで電源を入れることができません。	9
	勝手に電源が切れる	停止状態で放置するとACアダプター使用時は約15分で、バッテリーパック単独使用時は約5分で電源が切れます。**（オートパワーオフ）**電源を入れ直してください。	9
バッテリーパックについて	**充電できない（［CHG］ランプが点灯しない）**	電源が入っていると充電できません。	8、9
		温かくなっているバッテリーパックは、通常よりも充電時間が長くかかったり、充電できない場合があります。バッテリーパックが冷えてから充電してください。	**
		接続を確認してください。	8
	バッテリーパックで使用できない	高／低温下では保護回路が働き、使用できない場合があります。常温下（5～35℃）で使用してください。	**
操作について	**各ボタン操作ができない**	ディスクによっては、特定の操作を禁止している場合があります。	7、13
		ホールド状態になっていませんか？	12
		落雷や静電気などの影響により、本機が正常に動作しないことがあります。本機の電源を一度「切」「入」してみてください。または、電源を切ってACアダプターを抜き、もう一度差し込んでください。	**
	［▶］を押しても、再生が始まらない（またはすぐに停止する）	寒い所から急に暖かい所へ持ち込むと露つきが発生する場合があります。（1～2時間放置してください。）	**
		DVDオーディオ／DVDビデオ／ビデオCD／CD以外のディスクは再生できません。	6
		ディスクが汚れていませんか？	42
		ディスクを正しくセットしてください。	13
		初期設定“2 視聴制限”の設定を確認してください。	28
	リモコンで操作できない	電池の⊕⊖を確かめて正しく入れてください。	7
		電池が消耗している場合は、新しいものに交換してください。	7
		リモコン受信部に正しく向けて操作してください。	7

	こんなときは	ここを確認／処置してください	参照ページ
操作について	**DVD カラオケ再生中に、ボーカルが出ない**	光デジタルケーブルを使って他の機器と接続しているときは、“6 デジタル出力”で“Dolby Digital”を“PCM”に設定してください。	40
	カラオケソフトの再生中、1 曲終わるたびにメニュー画面に戻る	カラオケソフトの大半は、選んだ曲が終わるたびにメニュー画面に戻るように制作されています。 メニュー画面に「全曲再生」という項目がある場合は、その項目を選ぶと全曲が再生されます。	**
	音声／字幕言語が切り換えられない	一つしか言語が記録されていないディスクでは切り換えできません。	**
		音声／字幕切り換え操作では切り換えできないが、メニュー画面等で切り換えできるディスクもあります。	**
	字幕が出ない	字幕の入っていないディスクでは表示されません。	**
		字幕が“切”になっていませんか？	21
		A-B リピート再生の A 点、B 点や、マーカーでマークを付けた箇所の前後では、字幕が表示されないことがあります。	**
	アングルを切り換えられない	複数のアングルが記録されていないディスクでは切り換えることができません。また、複数のアングルが特定の場面のみ記録されているディスクもあります。	**
	視聴制限で設定した暗証番号を忘れた **すべての設定を工場出荷時に戻したい**	以下の操作で、すべての設定を工場出荷時に戻してください。停止状態で、本体の［**❚❚**］と［**⏮**］を押しながら、［**▶、ON**］を 3 秒以上押し続ける。 （画面の“オールクリア”が消えたことを確認し、電源を一度切ってください。）	**
音声について	**音声の一部が聞こえない**	接続したスピーカーに合わせて正しく設定していますか？	38
		アナログ接続で 3 本以上のスピーカーをつないでいるときはV.S.S.／ヘッドホンV.S.S.を“OFF”（解除）にしてください。	37
		DVD オーディオにはディスク側の制約により、5.1ch 出力でないと正しく再生されないものがあります。 このようなディスクを 5 本以下のスピーカーで再生すると、スピーカーのあるチャンネルの音声しか出力されません。 またヘッドホンで再生すると、フロント（L ／ R）の音声しか出力されません。	**
	雑音が聞こえる	本機と携帯電話を近づけて使っているときは、本機から携帯電話を離してください。	**

故障かな!?（つづき）

	こんなときは	ここを確認／処置してください	参照ページ
音声について	音声が出ない	[◄ VOL]（音量）ダイヤルが「0（無音）」になっていませんか？	35
		接続、設定を確認してください。	32-35 38-41
		接続した機器の入力切換は正しいですか？	**
	音声が出ないトラックがある	再生中のディスクが規格に違反している可能性があります。	**
映像について	早送り／早戻しをしたら、画像が乱れる	多少乱れが出ることがありますが、故障ではありません。	**
	テレビに映像が映らない（または画面サイズがおかしい）	接続を確認してください。	10
		テレビの電源は入っていますか？	**
		テレビの入力切換は正しいですか？	**
		初期設定“5 接続するTV”の項目は、正しく設定されていますか？	11
		テレビ側の画面モードを変更してください。	43
表示について	画面メッセージが出ない	初期設定“4 オンスクリーン”の“1 画面メッセージ”を“入”にしてください。	29
	GUI画面が欠ける（または表示されない）	初期設定“4 オンスクリーン”の“2 色と位置”でGUI画面の位置を変更してください。	29
	表示窓に“NO PLAY”と表示する	再生できないディスクが入っています。	6
	表示窓に“□-□ Err”と表示する（□は数字）	規格に違反したトラックを再生しています。 例“9-3 Err”（グループ9のトラック3が規格違反です。）	**
	表示窓に“U11”と表示する	ディスクがよごれています。	42
	表示窓に“H□□”と表示する（□□は数字）	異常が発生しました。 （“H”以降の数字は、本機の状態によって変わります。） 電源を一度、「切」「入」してください。または、電源を切ってACアダプターを抜き、もう一度差し込んでください。	**

■処置をされても“U11”“H□□”と表示するときは

お買い上げの販売店または、お近くの「修理ご相談窓口」（☞54～55ページ）に修理をご依頼ください。その場合画面に表示される番号をお知らせください。（例“H01”）

	こんなときは	ここを確認／処置してください	参照ページ
表示について	表示窓に“bAt Err □”と表示する（□は数字）	“bAt Err 1”：バッテリーパックに異常が発生しました。お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。	**
		“bAt Err 2”：12 時間充電し続けましたが、何らかの理由で完全充電されていません。再度充電してください。	**
		“bAt Err 3”：充電中にバッテリーパックが異常加熱しています。冷えてから、再度充電してください。	**
ランプの点滅について	操作ボタンを押すと[⏻]ランプが点滅する	ホールド状態になっていませんか？解除してください。	12
	[CHG]ランプが点滅する	バッテリーパックに異常が発生しました。表示窓の表示をご確認ください。（☞ 上記）	**
	[CHG]ランプがゆっくり点滅する	電池残量が少なくなっています。（数分 ～ 10 分前後すると、電源が切れます。）	**

お知らせ

以下の現象が起こることがありますが、異常ではありません。

- 充電中に、AC アダプターの内部で音がする。
- 充電後やバッテリーパックで使用中に、バッテリーパックが多少熱くなる。

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。
この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、またマクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

この製品は米国 DTS 社からの実施権に基づき製造されています。
「DTS」および「DTS ディジタルサラウンド」は DTS 社の商標です。
著作権 1996 年 DTS 社。不許複製。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Pro Logic 及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
非公開機密著作物。著作権 1992-1999 年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

初期設定一覧表

再生操作の前にあらかじめ設定しておける内容（初期設定）を一覧表にしています。
詳しくは、各ページをご参照ください。（下線部：出荷時の設定）

メニュー項目	設定内容		参照ページ
1 ディスク言語	音声言語	●日本語 ●英語 ●オリジナル ●その他	27
	字幕言語	●オート ●日本語 ●英語 ●その他	
	メニュー言語	●日本語 ●英語 ●その他	
2 視聴制限	8 すべて視聴可		28
	7～0 すべて不可	●ロック解除 ●暗証番号変更 ●レベル変更 ●一時解除	
3 画面メニュー言語	日本語		28
	English		
4 オンスクリーン	画面メッセージ	●入 ●切	29
	色と位置	●青色 ●紫色 ●緑色 ●青色（少し下）●紫色（少し下）●緑色（少し下）	
5 接続するTV	4：3		11
	16：9		
6 デジタル出力	PCM ダウンサンプリング変換	●しない ●する	40
	Dolby Digital	●Bitstream ●PCM	
	DTS Digital Surround	●PCM ●Bitstream	
7 スピーカー設定	マルチチャンネル／スピーカーの有無とサイズ／フロント（L／R）	●あり（大）●あり（小）	38
	マルチチャンネル／スピーカーの有無とサイズ／センター	●あり（大）●あり（小）●なし	
	マルチチャンネル／スピーカーの有無とサイズ／サブウーハー	●あり ●なし	
	マルチチャンネル／スピーカーの有無とサイズ／サラウンド（L／R）	●あり（大）●あり（小）●なし	
	マルチチャンネル／ディレイタイム／センター	●0 ●1.3 ●2.6 ●3.9 ●5.3 ms	
	マルチチャンネル／ディレイタイム／サラウンド（L／R）	●0 ●5.3 ●10.6 ●15.9 ms	
	マルチチャンネル／出力バランス／センター	●－3～0～＋3 dB	
	マルチチャンネル／出力バランス／サブウーハー	●－3～0～＋3 dB	
	マルチチャンネル／出力バランス／サラウンド（L）	●－3～0～＋3 dB	
	マルチチャンネル／出力バランス／サラウンド（R）	●－3～0～＋3 dB	
	2 チャンネル		
9 エキスパート設定	スチルモード	●オート ●フィールド ●フレーム	29
	早送り時の音声	●あり ●なし	
	TV モード（4：3）	●パン&スキャン ●レターボックス	
	音声のダイナミックレンジ圧縮	●切 ●入	
	I／P／B インジケーター	●しない ●する	
	DVD ビデオモード	●しない ●する	

主な仕様

電源	DC 9 V（AC アダプター端子）／DC 7.2 V（専用バッテリー端子）
消費電力	8 W（本体 6 W） 電源「切」時 1.3 W／充電時 22 W（付属の専用 AC アダプター使用時）
AC アダプター	電源： 100～240 V、50／60 Hz 消費電力： 41～52 VA DC 出力： 9 V、2 A

外形寸法	幅 185 ×奥行 140 ×高さ 15.5 mm（突起物を含まず）
質量	約 320 g
許容周囲温度	＋5～35 ℃
許容相対湿度	5～90 % RH
信号方式	NTSC
対応ディスク	（1）DVD-Audio／DVD-Video ディスク 12 cm 片面 1 層 12 cm 片面 2 層 12 cm 両面（各面 1 層） 8 cm 片面 1 層 8 cm 片面 2 層 8 cm 両面（各面 1 層） （2）コンパクトディスク（CD-DA、Video CD） 12 cm ディスク 8 cm ディスク
S 映像出力	Y 出力レベル： 1 Vp-p（75 Ω）
	C 出力レベル： 0.286 Vp-p（75 Ω）
	出力端子： S 端子（1 系統）
映像出力	出力レベル： 1 Vp-p（75 Ω）
	出力端子： ミニジャック（1 系統）

音声出力	出力レベル： 1.5 Vrms（1 kHz、0 dB）
	出力端子： ステレオミニジャック
	端子数： ●2ch（5.1ch ミックス）出力及び 5.1ch 出力フロントL／R（兼用）：1 系統 ●5.1ch 出力サラウンド L／R：1 系統 ●5.1ch 出力センター／サブウーハー：1 系統
音声出力特性	周波数特性： ●DVD（リニア音声）： 2 Hz～22 kHz（48 kHz サンプリング） 2 Hz～44 kHz（96 kHz サンプリング） 2 Hz～88 kHz（192 kHz サンプリング） ●CD： 2 Hz～20 kHz
	S/N 比： CD 115 dB
	ダイナミックレンジ： CD 97 dB
デジタル音声出力	出力端子： ●光デジタル出力： ミニ光コネクター（音声出力と兼用）

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

各部の名前

（　）内は参照ページを表しています。

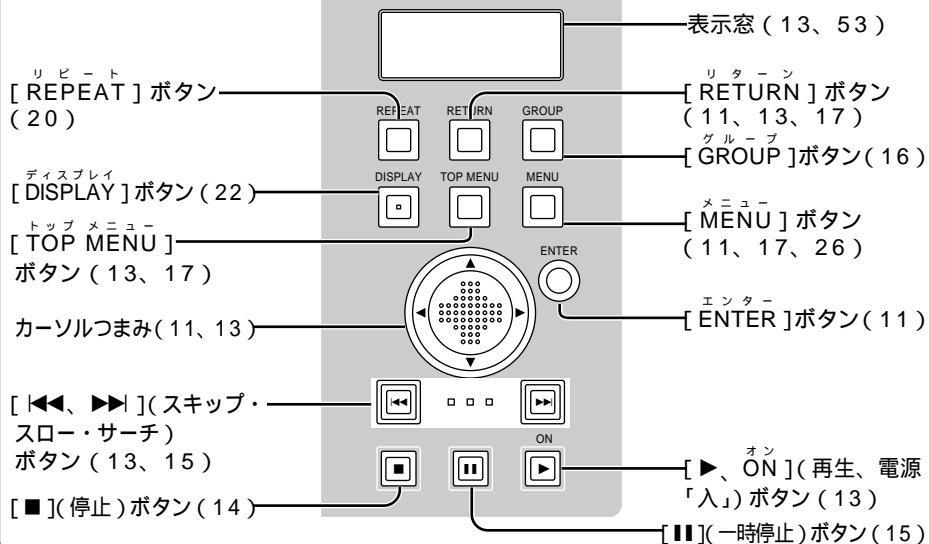
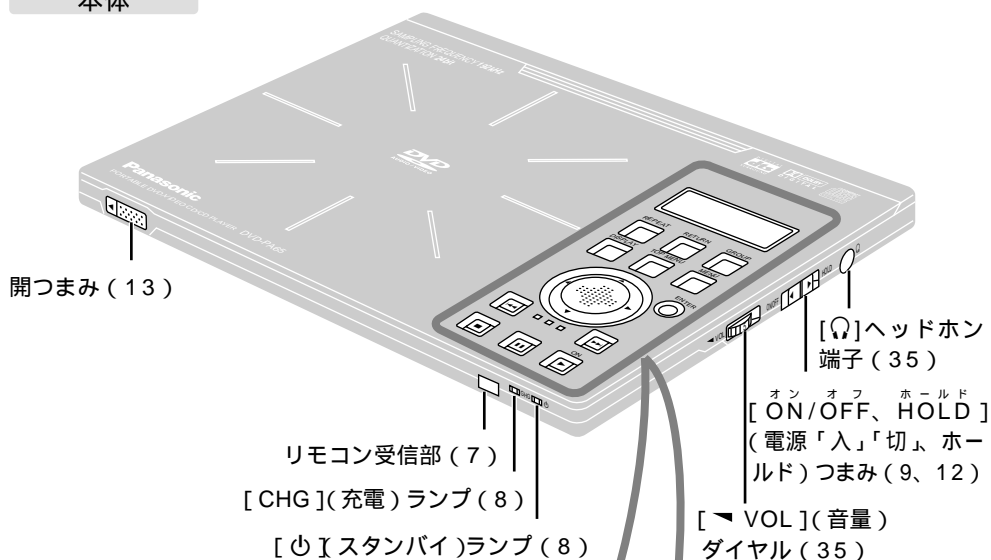
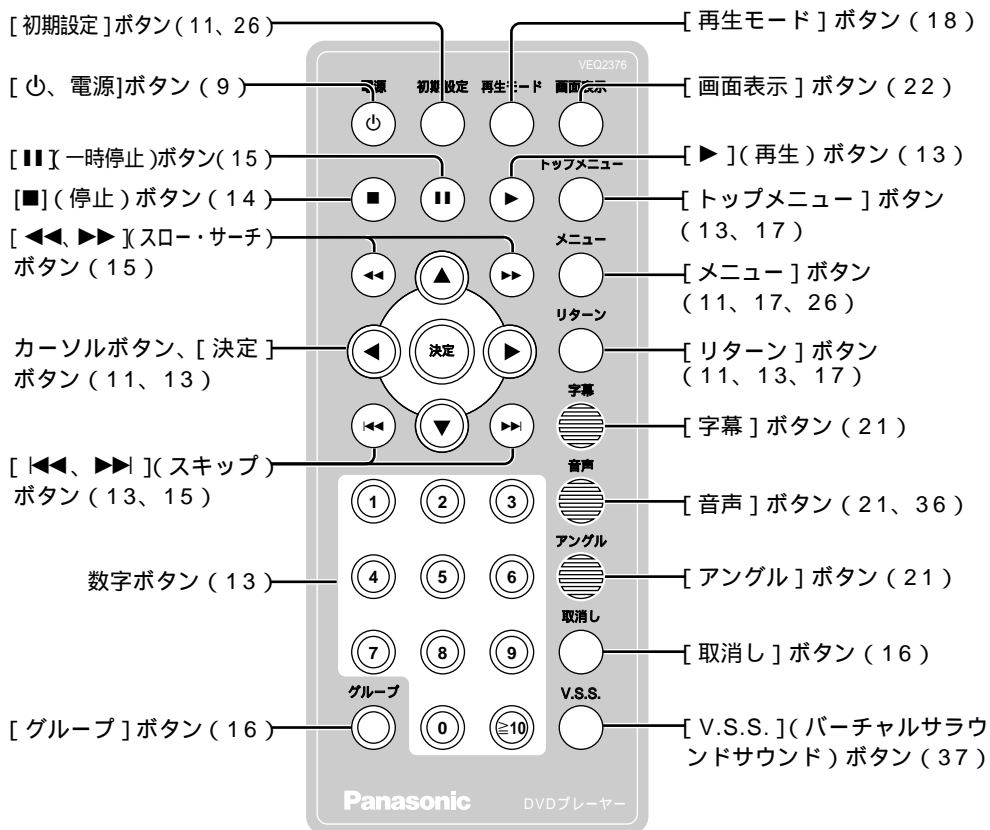
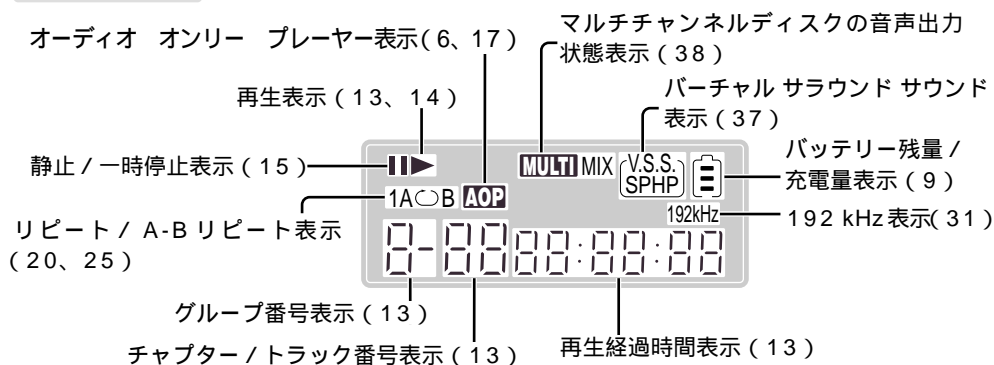
本体

リモコン

[初期設定] ボタン (11、26)
[⏻、電源]ボタン（9）
[❚❚] (一時停止) ボタン (15)
[■]（停止）ボタン（14）
[◀◀、▶▶] (スロー・サーチ) ボタン（15）
カーソルボタン、[決定] ボタン（11、13）
[|◀◀、▶▶|]（スキップ）ボタン（13、15）
数字ボタン（13）
[グループ] ボタン（16）
[再生モード] ボタン（18）
[画面表示] ボタン（22）
[▶]（再生）ボタン（13）
[トップメニュー] ボタン（13、17）
[メニュー] ボタン（11、17、26）
[リターン] ボタン（11、13、17）
[字幕] ボタン（21）
[音声] ボタン（21、36）
[アングル] ボタン（21）
[取消し] ボタン（16）
[V.S.S.]（バーチャルサラウンドサウンド）ボタン（37）

VEQ2376
電源
初期設定
再生モード
画面表示
トップメニュー
メニュー
決定
リターン
字幕
音声
アングル
取消し
グループ
V.S.S.
Panasonic
DVDプレーヤー

表示窓

各部の名前

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

■転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間

■修理を依頼されるとき

４６～４９ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まずACアダプターの電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
  ただし、ポータブルDVDオーディオ／ビデオプレーヤーの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後８年です。
  注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代	は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料	は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ナショナル／パナソニック
お客様ご相談センター

使いかた・お買い物のご相談は

フリーダイヤル(料金無料)
0120-878-365（パナは ３６５日）

３６５日／受付９時～２０時

Help desk for foreign residents in Japan
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)
Tokyo (03) 3256 - 5444
Osaka (06) 6645 - 8787

ナショナル／パナソニック
修理ご相談窓口

修理のご相談は

ナビダイヤル(全国共通番号)
☎ 0570-087-087（パナ パナ）

- お客様がおかけになった場所から最寄りの地区の修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHSからは最寄りの地区の修理ご相談窓口に直接おかけください。
  （ナビダイヤルはご利用頂けません）

北海道地区

札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎ (011)894-1251	**帯広**	帯広市西１９条南１丁目７-１１ ☎ (0155)33-8477
旭川	旭川市2条通２１丁目左1号 ☎ (0166)31-6151	**函館**	函館市西桔梗５８９番地２４１（函館流通卸センター内） ☎ (0138)48-6631

東北地区

青森	青森市大字八ッ役字矢作1-37 ☎ (017)739-9712	**宮城**	仙台市宮城野区扇町7-4-18 ☎ (022)387-1117
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2 ☎ (018)826-1600	**山形**	山形市流通センター3丁目12-2 ☎ (023)641-8100
岩手	盛岡市羽場１３地割30-3 ☎ (019)639-5120	**福島**	福島県安達郡本宮町字南ノ内６５ ☎ (0243)34-1301

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

首都圏地区

地域	所在地	電話番号
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市萩原町沖中205-18	☎(027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	☎(029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	☎(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)729-2102
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5450-7431
山梨	甲府市下飯田2丁目1-27	☎(0552)22-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)840-3155
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-7725

中部地区

地域	所在地	電話番号
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)58-0073
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

地域	所在地	電話番号
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市南区上鳥羽石橋町20-1	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-1311
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

地域	所在地	電話番号
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市西津田2丁目10-19	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司 字鋳銭司団地北447-23	☎(0839)86-4050

四国地区

地域	所在地	電話番号
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

地域	所在地	電話番号
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄896-2	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	☎(0985)85-6530
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市矢之脇町10-5	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地域	所在地	電話番号
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0600

本機は一般家庭用として作られています。
一般家庭用以外での使用（例えば飲食店などの営業用としての長時間使用など）により故障した場合は、保証期間内でも有料修理とさせていただくことがあります。

別売品のご紹介

別売品の品番は、2000年5月現在のものです。品番は変更されることがあります。

品名	品番	品名	品番
S映像コード	RP-CVS0G10（1.0 m）	光デジタルケーブル	RP-CA2105A（0.5 m）
	RP-CVS0G20（2.0 m）		RP-CA2110A（1.0 m）
	RP-CVS0G30（3.0 m）		RP-CA2120A（2.0 m）
	RP-CVS0G50（5.0 m）	ミニ・ピンラインコード	RP-CAPM3G15（1.5 m）
AVアンプ（AVコントロールアンプ）	SA-DX930※	ステレオヘッドホン	RP-HC100
フロントスピーカー（L／R）	SB-LV500（左右1組）		RP-HT870
			RP-HS70
センタースピーカー	SB-C500	ステレオインサイドホン	RP-HV570
サラウンドスピーカー（L／R）	SB-S500（左右1組）	アクティブスピーカーシステム	RP-SP90
アクティブサブウーハー	SB-AS30	バッテリーパック	DY-DB75

※ 5.1ch音声入力端子とドルビーデジタル／DTSデコーダーを装備しています。

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

愛情点検　**長年ご使用のポータブルDVDオーディオ／ビデオプレーヤーの点検を！**

こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 正常に動作しないことがある
- 商品に損傷した部分がある
- その他の異常や故障がある

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　　月　　日	品番	DVD-PA65
販売店名	☎（　　）　－		
お客様ご相談窓口	☎（　　）　－		

松下電器産業株式会社　デジタルAVネットワーク事業部

〒571-8505 大阪府門真市松生町1番4号

RQT5593-S
F0600CK0